

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-118)、
廃棄物管理施設(93)、MOX燃料加工施設(2-76))」

2. 日時：令和5年11月10日(金) 10時00分～12時10分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他7名

東電設計株式会社 土木部 耐震技術部 担当職

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年11月9日の提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・今後の進め方
- ・設工認申請の対応状況(次回審査会合での説明事項)

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・今後の進め方については、再処理施設の構造設計等の説明を進めるにあたり、説明すべき項目の体系的な整理等の進め方を踏まえてスケジュールを整理する。また、説明に当たっては、MOX施設での整理の反映状況などを明らかにする。
- ・設工認申請の対応状況のうち構造設計等の説明について、前回の審査会合を受けて対応した事項の全体像を示した上で体系的な説明となるよう整理する。
- ・設工認申請の対応状況のうち耐震設計について、検討結果だけでなく検討のプロセスを明らかにするとともに、説明に当たっては技術的に正確な表現を用いるよう精査する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年11月9日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	に関しましては、規制庁野上です。それでは日本原燃とのヒアリングを開始します。
0:00:07	本日は、令和4年12月26日に申請のあった最終事業所、あと、
0:00:14	管理ですね、設工認、また、令和5年2月28日に申請のあったMOX燃料工場の説明にかかる事実確認を行い、
0:00:25	ます。資料は昨日提出した、提出のあった、今後ですね、中里審査会合の資料と、
0:00:33	いうことで、
0:00:36	まず、規制の規制庁側の出席者ですけども、会議室側から、オノヨコヤマライヤマガチカミデ、また後程、長谷川管理官が出席されます。
0:00:49	オカ上からハバサキキシノを学校オオハシコサクとなっています。それでは原燃の方から出席者とあと資料の、
0:00:59	商売ですね、あとは
0:01:02	今後の進め方からだと思うので、その説明までお願いします。
0:01:09	はい。日本原燃事務局の中浜でございます。
0:01:13	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:17	Steeringチームより、
0:01:20	パワー
0:01:21	を持って、
0:01:23	イシグロ、
0:01:24	赤いやん。
0:01:26	イシハラ。
0:01:27	あとウェブからサポートメンバーといたしまして、
0:01:30	河成
0:01:31	東電設計から様からウノ様。
0:01:36	達六ヶ所から、再処理及びMOXの事務局参加させていただいてございます。
0:01:44	それでは今後の進め方からご説明を開始させていただきます。よろしくお願いします。
0:01:51	はい。弓削ニシダでございます。それでは、11月4日付で提出させていただきました今後の進め方でございます。
0:01:59	今回、特に報通の審査会合の説明方針のところでございますが、12月の案件、
0:02:09	これまでの特に評価関係ですね資料4の関係の進捗の状況を踏まえまして、前回の11月の案件に行ったものを12月にスライドさせていただいてます。

0:02:23	また、最初の説明グループ 1 に係る構造設計等の対応状況を 12 月に説明するという事に合わせて、最初に廃棄物管理の設計説明分類、
0:02:33	説明グループの設定について 10 月の会合でのやりとりを踏まえた修正というのあわせて、このタイミングでご説明をさせていただくと。
0:02:43	ということで整理をさせていただきました。
0:02:46	またこのそれぞれの説明の項目に間に合うようにというのはあれですけどもそういったものを考えて、3 ポツ 1 の、
0:02:57	それぞれの説明項目についてのスケジュールを、下線で追加している部分、今後の進め方を整理をさせていただきました。
0:03:07	はい。
0:03:08	特に 2 ページ目ですね。
0:03:12	設計項目 DB の設計項目ですとか SA の要求事項の整理、またそれをそれらをやった上での DB と SA の紐づけといったものを進めていく必要があるんですが布施今週の会、水曜日か。
0:03:26	にヒアリングをさせていただいたものも踏まえて、スケジュール、今後のスケジュールを載せて記載をさせていただいてございます。
0:03:37	はい。日本原燃の加賀谷でございます。
0:03:39	今、御社の説明がありました、3 ポツのところの個別の説明で溢水のところでございます。1 昨日のヒアリングを踏まえてですね、被水につきましては DB の設計項目の整理、
0:03:53	というところで説明すべき積極項目評価っていうところを明確にするためにもですね、個別のまだ
0:04:01	これまでのヒアリングで回答できていないところということについても、あわせて説明することで JTB の設計項目の数、整理が明確になるというふうに考えておりますので、
0:04:12	そこを合わせて個別の説明ということも、やっぱり行いたいなというふうに考えております。
0:04:19	その全体というところは 11 月の 27 日に資料提出して 11 月、
0:04:24	30 日部屋を希望というところで書かさせていただいております。
0:04:29	以上でございます。
0:04:33	はい。中にございます 3.1 の最後です。資料 4 に関係するところ、これ直近のものしか今書いてませんが、
0:04:43	前回までやっていた進め方部屋をちょっとまた活用させていただきまして、16、17 の関係それ以外にもそのあとも続けて、
0:04:53	進め方費用を活用しつつ、共通上位の本体に展開をしていくという流れで進めていければというふうに思っていると。

0:05:03	ということでございます。この前提にはこの後、いわゆる審査会合のでの話の中での、資料 2 での評価の抽出と、
0:05:13	というのが網羅的にできるような仕組みを作っておくということを前提に、資料 4 でどう低下していくかと。
0:05:19	ということの整理をさせていただこうということでございます。
0:05:23	はい。
0:05:25	次 3、日本原燃野本でございます。次に、3 ポツ 2 の耐震関係の、
0:05:31	進め方の部分でございます、変更点は、下線で引いてございます。まず両括弧 1 の全体シナリオ 4 品に対する検討のところですけども、
0:05:44	こちらアカセきてございますのが、10 月 3 日のヒアリングを踏まえた検討及び肥料化、これを検討ですね 11 月 10 日ということで、少し 3 日ほど後ろ倒しの
0:05:57	今工程で進んでるところ反映してございまして、これにつれまして、了解。片括弧日のレビューの日付もす、若干後出ししてございます。ただ、
0:06:07	この検討自体はですね、今の時点ではこのをちょっと圧縮して、否決を進めることで最後のご提出期限というのは、ここは固定のままということで考えてございます。
0:06:22	それから両括弧 2 追加ボーリング調査費の結果とそれから分析のところでございますけれども、12 月 7 日時点の状況を 12 月の会合、
0:06:35	段階で、
0:06:37	その岩石コア以外のものはおそらく、その分という予定で今進んでございますので、できればそこまでの取得データに基づく分析の見通しまで、
0:06:47	データがこれ取れましただけではなくてそれに基づいて、このように分析して参ると、というようなところまでをご説明したいというふうに考えてございましてここの下線のところを追記しております。
0:07:00	この内容はですね先ほど 2 ポツのところの、12 月審査会合のところの 1 ポツのところ、取得状況と分析の見通しちょっとこの文言足したものと、今、合わせているというところでございます。
0:07:14	それから両括弧 3 の、君島モデルの設定方針ですけどもこちらはですね、12 月 220 日提出の対比とても 08 国家反映ということで、前回の進め方平手の議論を反映させていただくというところでございます。以上でございます。
0:07:33	はい。
0:07:37	えっと、別添中学校。
0:07:39	はい、末広でございます。については 5 ページとかで、本文でご説明した日付を変えた場合ですので、徹底した時になって、

0:07:50	あとは、一番最後のスケジュールですね、藤村です。はい。はい。
0:07:55	一応、
0:07:57	今までの、
0:07:59	私は、
0:08:04	誰お願いします。
0:08:12	うん。
0:08:15	はい。
0:08:17	泉規制庁山口です。
0:08:20	一斉についてなんですけども、先ほど
0:08:24	説明いただいた通り今DBの設計項目の整理っていうのをやって確かに前回のヒアリングで、結局
0:08:34	個別項目として挙げて屋外の局所評価だったり、
0:08:40	結局漏えい検知隔離DB期待してるのかとかそういう話は以前、論点として挙げてて、それによって、
0:08:50	結局、対象が何名かって説明する項目も変わってくるっていうところで、
0:08:57	その整理をつけるためにも先にやりたいっていうことで理解しました一方で
0:09:03	対象としては、
0:09:06	広く上げておいて、その共通順位の中でその時に結局は、こういうふうに整理したらここは不要ですっていう説明もあるかなとは思んですけども、それもあわせて先に、
0:09:18	整理は、
0:09:19	年内でできてるから説明させてくださいっていうことであれば、それで対応したいと思います。
0:09:26	はい。吉森委員、高井でございます。はい、承知いたしました。
0:09:35	規制庁の荒井ですけど、設計項目を固めるという点でも個別の説明を行いたって話が最近あったと思うんですけど。
0:09:43	個別の説明っていうのが、我々と、
0:09:47	原燃側で合ってるのかっていうのを確認したくって、内容って何でしたっけ。
0:09:53	今言った屋外機の話とか、
0:09:55	のほかにもあるんじゃないかなと思ったんですけど。
0:10:00	はい。日本原燃の高井でございます。おっしゃっていただいている通り、その他の項目もでございます。
0:10:07	その中で最も背
0:10:10	設計方針の指針共通順位を作成していく上で、設計の方針を説明した上で

0:10:17	どうやって説明すべき設計項目につなげていくかというところを、
0:10:21	対象に対応方針で個別説明しますという形で挙げてたのがこの今の
0:10:26	項目でございます。
0:10:28	他の項目につきましても、どのような説明をしていくかというところは、
0:10:35	設計項目の整理の資料。
0:10:37	内で詳しく書く会議とか、
0:10:40	少し個別で説明するかというところは、はい。検討させていただきたいなというふうに、
0:10:45	以上です。
0:10:47	はい。
0:10:50	スケジュールの話もそのあとにあると思いますんで、ちょっとその辺りまた聞かせていただきたいと思います。
0:11:00	すいません規制庁山口です。ちょっと1点聞き忘れたんですけども、
0:11:05	今、
0:11:07	ちょっと、もしかして後の話になってしまうんですけど、本部だと溢水は、こういうのをやっていきますってことが書かれして利己週間スケジュール見ると、次回の資料提出で薬品、
0:11:20	化学薬品が入ってるんですけども、
0:11:23	今、水の設計項目の整理にも、薬品を入れてこようとしてるっていう、そういうことでしょうか。
0:11:31	はい。日本原燃高谷でございます。はい。おっしゃる通りでございますが。はい。今後の進め方で。はい。
0:11:39	記載が漏れていますので。はい。
0:11:44	はい。イヤホン前にも、
0:11:46	がちょっと漏れてるだけで、後の週間スケジュール性っていうことで、
0:11:51	国も入ってくるってことで了解しました。
0:11:59	規制庁大田です。
0:12:01	当合間を踏まえてのことなんですがまず、11月から再処理の設計、
0:12:07	説明分類説明グループはなくなって12月にまわしてで、結局、ここの部分を、12月にちゃんと、
0:12:18	やるための答申というかですね。
0:12:20	最近のそのDBの整理とて、SAの整理と、布田ちゃんとしてっていうところ。
0:12:28	のプロセスをもう少し、
0:12:30	詳細に足すくうに分けて、12月にちゃんと達成できるようにっていう、
0:12:37	ようなこともお伝えしてたと思うんですが、その辺でいかがようになってますでしょうか。

0:12:44	はい。二本木西原でございます。おっしゃっていただいている通り今
0:12:51	DBの設計項目、SAの要求事項の整理だけではなくて、DBとSA、能 紐付け資料 2 で言う、リンクづけですね、というところまで持っていける ように、
0:13:03	一応スケジュールじゃないな。こん本文上では、
0:13:09	次、
0:13:13	DB設計項目との関係整理とか、2 ページ目の
0:13:17	7 方二つ目の利点三つ目ですかね。
0:13:22	この要求事項、上の二つのレ点を踏まえて、DBの基本設計方針とSA 側の紐づけだったりSAの設計項目の整理、
0:13:31	丸井委員の設計項目との関係整理、これ最後で、ジャンプじゃないです けど紐づけをるところまで持っていきたいというのが医師ですけども そういうステップで作業をしていこうと。
0:13:44	ということで、かつその作業のステップに合わせたスケジュールを今設定 をしているところです。
0:13:50	ただ
0:13:52	二つぐらいの項目は同じ日付になってたりですね、なかなか作業として も、結構、
0:13:58	決め込んでる感はあるので、もう少しスケジュールの精査は必要かと思 ってます。
0:14:04	はい、規制庁笠野そこは確認しているんですが、まだ最初に説明グル ープ 1 のDBしかやってなくて、設計説明分類を全部展開するには他の
0:14:15	ところも必要だと思っていいるんですが、
0:14:18	はい、西田でございますこれはどういうふうにするかを、
0:14:24	来週か、来週資料DBの設計項目の資料を出すときにですね合わせて 全体像を進めていく、最終的に説明グループの隅括弧ですね。
0:14:37	これを説明グループ 1 の説明を、に合わせてやるにしても、一定程度野 瀬制度のものになるということに結びつける考え方は、
0:14:47	お出しをしたいと思います。はい。
0:14:50	はい。村長かつそこら辺の整理が、きっと
0:14:55	かなり重要だと思ってまして、12 月の会合までやっぱりそんなに日数も ないので、
0:15:04	しっかり計画的にタスク分解して進めていただきたいなと思った次第で す。よろしくお願いします。
0:15:17	清長官、12 月に向けてってということだと、2 ページ目の真ん中に、
0:15:23	2-2 の、その評価。
0:15:26	とりあえず 16 日に資料が出てきて、17 日最初、

0:15:32	しましよ。
0:15:34	16 日に出てくる資料って、
0:15:36	どれぐらいのボリュームのものが考えられているのかとイメージできて おります。
0:15:41	はい、乳井瀬谷でございます。正直すいません私が、
0:15:45	こういう週末アイデアを作って、知事をしようと思ってたぐらいのレベル ですよ。はい。
0:15:51	はい、規制庁%
0:15:52	ありましたというか、
0:15:56	12 月に向けてという意味であると、ちょっとそれなりにあるのかな。はい。 こういうのがあるのか、それは、
0:16:06	最初の申請をちゃんとわかってるんですけど、
0:16:10	前日に出てきて、次の午前中でいいのか。
0:16:15	せめてもう 1 日とか、何となくそんな一番思ってますんで、検討いた だく。
0:16:22	はい、日本イシハラでございますはい。承知いたしました。
0:16:30	はい、清長官、すいません、極力、
0:16:34	今の点は、
0:16:36	どっちの方向にどう動くのかによるんですけど、
0:16:43	イシタ資料じゃないんだったらさっさとやった方がよくて、16 日提出自体 が遅くてもっと前倒しをして、
0:16:52	出したその日にヒアリングでもいいぐらいだと思んですけど、
0:16:57	このタイミングをどうするかよりも、
0:17:00	その後どうしていくのかっていう、先ほどのアノオオオカが言った話と同 じですけど、
0:17:06	ここまでのステップが全くわからないっていうのは、
0:17:09	いいかわからないので、
0:17:12	それぐらい今日提示いただきたかったんですけど。
0:17:15	どうなります。
0:17:17	はい、与儀西田でございますはい。おっしゃっていただいている通りで すねはい。12 月もまでもあまり日付がないので、
0:17:26	はい。
0:17:28	資料 16 に出す資料を、タイミングを早めてかつどういうふうに進めてい くかも含めて、
0:17:37	お示しできるようにちょっと考えますはいすいませんでした。
0:17:49	補足です。
0:17:51	ソーレで、

0:17:53	考えると、来週どういふうに進めるのかっていうことにもなるんですけど、
0:17:58	その前のオカから言った花C、
0:18:03	もう、
0:18:06	含めて、来週出しますっていうことなんですけど。
0:18:13	いつですかっていうところは何か、
0:18:17	はい。それに合わせていいかなと思うんですけども、先ほど岡さんの説明グループです話でいけば今は先ほど話した15日今、
0:18:30	DBの設計項目とかの打ち返しのやつ前回のヒアリングを踏まえた修正版を出しますんであとSAの要求事項の整理と、
0:18:38	この時に合わせてこの後の全体の進め方をどういうステップでやっていって説明グループの隅括弧、一定のレベルで作り上げていくかと。
0:18:49	いう説明をつけられつけようというのが先ほどお話したところです。
0:18:54	もう一つは資料4の話は、今お話受けて、
0:18:59	月曜日7日火曜日なのか、ちょっと早めに、全体の進め方であったり、どういう項目を12月にやるのかということに向けて、どういうステップで作業を進めていくのかっていう全体像がですね、
0:19:12	見えるように、資料の提出をして、例えば15日の午後今、
0:19:19	午前中が審査会合の資料の面でのヒアリングやってますんで、午後にそれをセットさせていただくとか、何かちょっと考えたいと思います。はい。
0:19:30	はい、そうです。午後に回す必要があるかどうかちょっとあれですけど、いずれにしても水曜日に
0:19:39	進め方の
0:19:40	今日本来はやりたかったっていうことを、いや、
0:19:45	その上で
0:19:49	その後の具体っていうので、水曜日提出の資料。
0:19:53	から順々に、
0:19:55	確認をしていきたいと思いますのでよろしくお願いします。
0:20:03	はい、上西でございます。いたしました。
0:20:08	とコサクですその際にですけど、このスケジュール表を見ても先ほども何かからありましたけど、竜巻、水SA、
0:20:17	等々ですね、順番が何でこういう順番なの、相互に関係するけどどう調整していくのっていうのが、
0:20:25	わからない感じになってますけど。
0:20:28	それは今日確認というよりはそれで整理していただいて水曜日確認の方がいいですか。

0:20:36	はい、西原でございますはい。クドウ形でやらせていただければと思います。はい。
0:20:43	はい。補足です。
0:20:44	以上です。
0:20:49	規制庁は規制庁側から、
0:20:52	地震以外の
0:20:57	場、
0:20:59	阪神の説明ファクターですが、
0:21:04	長神戸です。
0:21:07	私のところは、
0:21:11	3 ページ目の、
0:21:13	(3)のところで、
0:21:17	その基本地盤モデルの設定の考え方っていうのも、12 月 22 日の 18、ここは入ってきます。
0:21:26	はい。2 ページ目の、
0:21:32	マツノ、
0:21:34	レビューも関係者、
0:21:38	っていう話の中に、
0:21:40	この(3)の話が含まれているのか、含めていないように見え、
0:21:46	こういうところもあわせて、皆さん、研究して進めていくのかっていう。
0:21:52	はい、日本原燃の後藤でございます。この 08 期のレビューのところに含めているのかに対しては、イエスで含めて、関係者の方と議論してこれ進めたいというふうに思っております。ですんで今
0:22:05	資料館をもうほとんど終盤にかかってますけれども、含める形での応答資料作成ということで作業を進めているところでございます。以上でございます。
0:22:15	はい。
0:22:17	その辺の考え方とあとは 12 月の会合のメニューとしては、その辺の考え方。
0:22:28	頭出し的なところ等、また追加調査、これぐらいまで少ないと進みます。
0:22:34	12 月、
0:22:37	はい。全然ノモトでございます。はい。その通りでございます。
0:22:43	信号で規制庁。
0:22:53	規制庁。
0:22:54	稲井です。
0:22:55	なければ私からも 1 点なんですけど、来週の火曜日、
0:23:03	18 のコメント対応方針。

0:23:10	予定されていて、
0:23:12	この資料が出てたんですが、
0:23:17	なんか前回版から多少請求はされているものの、
0:23:21	これで何を話したいのかっていうのが、資料業務側としては全然わからんですけど、
0:23:29	何話したらいいですか。
0:23:32	玄野本でございます。ちょっとわからないよと、今おっしゃっていただいて、ちょっとここは発生しないといけないんですけども、
0:23:42	ちょっと我々の思いとしては、こういう内容を、もう今度 08 期に盛り込みますということが、読んでわかっていたるようにダイジェストでちょっと書くと、
0:23:55	いうイメージで今回の資料は作成して、提出いたしましたんで、これ検討する、あんまりのバージョンではですねこれを検討するといったようなもう五味で終わっていたものを、
0:24:08	どういうふうな検討をしてどういう中身を、織り込んでいくかと、いうことを入れたつもりで、お出しはしているんですけども、
0:24:19	そういう意味でちょっと足らずであるというご指摘かと思ひまして、ちゃんとまだ見てなくて、なんでかっていうと、変更箇所にも下線も何も引いてないから、
0:24:33	何か変わってないなっていうのしか見えてないんすよ。なんでその語尾とかをちゃんと読めば、新しく追加した項目以外にも前から書いてあるようなその 10 月と 9 月と、もう、
0:24:47	一通りちゃんと手を入れてますっていうんであればそういう目でもう 1 回会議を望みますけどそういうことで、
0:24:55	はい。権限のもとでございます。はい。おっしゃる通りでですね、前回から変わっていないところというのは、冒頭の基本的な考え方といいますか心がけの部分は、
0:25:07	もちろん変わっていないんですけども、後半のですね、具体的な反映の内容のところはもうほとんどですね書き換えたに近いような内容になってるかなというふうに私たち思っております、
0:25:18	ですね、ある意味そこちょっと全部もう稼ぐと全部下線が引かれるような、ちょっとそういう状況かなというふうに思っておりますのでもしよろしければ、ご一読いただければありがたいかなというふうには思います。
0:25:29	はい。清長官、わかりました。
0:25:32	北海道は、
0:25:37	別の中です。
0:25:40	岸野さん、よろしいですか。

0:25:44	聞こえてないか。どうぞ。
0:25:46	すいません。
0:25:47	今のやりとりについての確認なんですけれども、14日にコメント反映方針のヒアリングということで、10月までのヒアリングで出てきた。
0:25:58	コメントに対してこう反映していきますよっていう説明だということなんですけど、資料の2ページ目にあった、この資料化に向けての資料提出に向けてのそのルールスケジュールと照らし合わせて、
0:26:13	もう11月10日今日の時点で、ヒアリングを踏まえた検討と資料化ってのはもう概ね終わっているという状況だと思うんですね。
0:26:22	その中で、来週14日。いえ。
0:26:27	もうやっちゃった内容について、検討もある程度終わってるけれども、そもそも問題意識があつてやり方これ正しかったですかねっていう確認を、
0:26:38	するつもりでヒアリングに臨むんですか。
0:26:42	それとも、この部分についてはまだ実は手つかずであの建物ずらしにこれから反映するところなんで、
0:26:48	それに向けて、問題意識とか方針が合ってるかを確認するのが14日の目的なのか、そのどちらなのか教えていただけますか。はい。原燃野本でございます。
0:26:58	えっとですね、今この反映方針に基づいて資料の反映までやっているという状況で、その内容を、こういう方向でやっていますということを書いたのが今回お出しした資料ということです。
0:27:13	ですので、これ14日のヒアリングです、またご議論いただきましてコメントもいただくかと思うんですけども、その内容につきましては先ほど2ページで言いますと、片括弧Dのところ、
0:27:27	この大平の内容を踏まえた追加検討とここで反映していく予定をさせていただきますけれども、この14日のヒアリングでやはりですね根本的にやっぱり大幅にですねやはり我々と
0:27:39	認識が違うといったことが万が一ですね、ちょっとないというふうに我々思っておるんですけども、まずそういうことがあるのであればこのリスクも考えながら、ちょっと調整させていただくということかというふうには思っております。以上でございます。
0:27:56	清町の石野です。はい。14日のヒアリングの位置付けはわかりました。で、当初、昨日出てきたその14日の資料を見ますとですね、
0:28:07	先ほどカミデなかったように、文言増えているのっていうところで、何か具体的なこと言って、正直、全体見てないです一読した印象としては、文章見ても、具体的に何をしようとするのかなっていうようなところが、

0:28:21	よくわかりにくい感じなんですけども、もうすでにある程度検討が進んでいておそらくお手元に具体的な資料とかデータとかもあるけれども、そういったものをあれしてこなかった。
0:28:31	概要文章だけで説明しようっていうことっていうのは、多分、
0:28:36	現ノモトでございます。ですね、ここはお出した資料の中で、できるだけ具体的なイメージを持っていただけるようにという意図で、
0:28:47	作ったつもりではございました。ただいまおっしゃっていただいたようにですねやはりそこが、読んでわからないということをちょっとおっしゃっていただきいたかと思しますので、
0:28:58	そういう意味ではちょっと資料がですね我々が大切にしたかった目的をちょっと達成できてないのかなというふうには思っていますし、具体的な検討内容が我々手元にあるんだよねとおっしゃっていただいたことについては、イエスでございます。
0:29:14	それを元にそれが端的に言うとうどういうことを話してるのかということがわかっていただけるといふ思いでこれは作りました。今のちょっと状況は以上でございます。
0:29:27	規制庁の金です。はい。
0:29:31	状況わかったんですけど、
0:29:33	達成した方が達成できなかった資料のGで来週のヒアリングでその目的は達成できるのかちょっと見えないんですけども、その資料では読み取れないところは、
0:29:44	具体的などころは、冒頭で説明しながら、具体的なイメージを層厚を、
0:29:51	空中になるかもしれないですけど、
0:29:55	構築していった認識合わせをするのが目的だという、そういうことですか。はい。前の方でございますはい。させていただければと思います。これをですね資料をまた、
0:30:06	出し直してということになりますと我々もですね方向性間違っているものを修正できないままというのによやっぱよろしくないかなと思いますんで申し訳ありませんけども、ちょっと口頭で補足させていただきながら、確認させていただけたらと。
0:30:20	いうふうに考えるところでございます。以上です。
0:30:24	成長のキシノです。はい、わかりました。だとするとあんまり具体的などころにこれはどういう意味のこれをどうするのっていうことを踏み込んでやってると非常に時間がかかると思いますんで、おそらく、
0:30:35	流行のヒアリングの趣旨としては、方向性や問題意識といった大きなところ間違いないかの確認、それに絞ってヒアリングをしたいんだと、そういうことでよろしいですか。

0:30:45	はい。原燃でございます。はい。その通りでございます。
0:30:51	瀬戸です。はい、わかりました。じゃあ、そういう、
0:30:54	見積もりでちょっとヒアリングに臨みたいと思います。私から以上です。
0:31:02	選挙は未定です。
0:31:05	あれしてよろしいですか。
0:31:09	特になければスケジュールの話も出ちゃいましたけど何か。
0:31:13	まだお話しすることあります。
0:31:18	はい。
0:31:23	中は、8 ページ 9 ページですけど、この中で、確認、
0:31:33	性状がわかれば、
0:31:41	規制庁のオオハシですけども、
0:31:45	次回でいいんですけども設計プロセスの面談等も入れていただければと思いますんで、12 月初めにやるという、
0:31:53	予定だと思えますんでよろしくお願いします。
0:31:56	はい、西浦でございますはい。
0:32:00	設計プロセスとあとⅢですね。はい。
0:32:04	はい。
0:32:05	ください。
0:32:11	はい、清長官です。
0:32:13	他ないですかね。
0:32:16	なければ、進め方として振り返ることも特にないかと思いますけどいいですよ。
0:32:28	耐震部分。
0:32:30	話を、
0:32:32	こちらは、
0:32:34	調査されてます。
0:32:35	はい、会長。
0:32:40	日本原燃野本でございます。それでは介護資料案につきましてのご説明でございます。
0:32:46	えーとですね、対象の
0:32:50	根本のところは、6 ページからのところになってございまして、6 ページ 7 ページはですね今の対応状況と位置付け、それから 7 ページのところは、
0:33:00	従前からお示しおります全体計画の今回のステータスというところをゴシマアノを示しているところで、香月自体は前回のですね、ヒガシが一番の

0:33:11	をご説明した時と、特に大きくは変わっていないというところでございます。
0:33:18	で、8 ページ目のところがですね、本日の説明内容ということで今回西垣版についての、地震観測記録を用いた検討結果やりますということをお願いして、
0:33:29	9 番目、すいません 9 ページ目のところはですね、これは
0:33:36	この地震観測記録のですね、計上として、東中央これは前回の資料の再掲でございます。
0:33:44	また 10 ページ目は、ここの地質断面図の特性の構成につきましてここも前回の再掲でございます。11 ページ目からが、西垣坂野を
0:33:57	検討の内容でございます、ちょっと 11 ページはですねもうここまで検討が固まっておりますので今回西側地盤だけの図ではなくって、二色オオヒガシを、
0:34:10	少し並べて横でちょっと見れるような形で図は、入れさせていただきます、説明自体は西側地盤の今回の分析結果で、前回の耐震建物 08 ジンノのヒアリングでも、
0:34:22	ご説明したような、我々の見解というのを記載させていただいているところでございます。
0:34:27	で、12 ページの目のところが、これが同定の結果とその低角関数の状況というのを示しているところ、それから 13 ページ目がシミュレーション解析による確認を、
0:34:41	いうところでございます、14 ページ目が、環境法による検討ということでこれはニシダにつきましても東側と同様、地表付近の、
0:34:53	重複反射等のが非常に複雑に出ているということで、これは安定したデコンボリューションは県の算定が困難ということで、この対処法による検討が、
0:35:05	東原と同じくちょっとできないと判断したということをご説明。
0:35:10	で言う 5 ページ目からがですね追加調査の進捗状況ということでこれはスケジュールの、今ここにありますと、
0:35:17	ことをお示してるところでございます、今のところですね、追加調査の、このボーリングですけれども全体にオンスケと言いながら若干、当初計画よりも数字と早い工程で進めることができていると。
0:35:32	ということで、そういうことをちょっと書かせていただいているところでございます。この本日といいますか会合では、PhaseOne2 の
0:35:44	高減衰行政に対するボーリング結果協議会月まで終わっているところのデータ処理といいますかデータ整理までできており、
0:35:52	結果を

0:35:54	利用して出そう。
0:35:57	で、16 ページ目にですね
0:36:01	ボーリングによるPhaseOneでの減衰の結果、ここ撮りましたという話と、大賀減数がこうになりましたという結果を声をアノせてるんですけども、
0:36:11	ちょっと僕のところです、その原則取得する時のプロセスのところの説明が少し抜けてるところがございましてちょっと今回の広い範囲できてないんですけども、
0:36:25	追加をしたいと思っておりますんで今画面共有を、できたらすみません6ヶ所からして欲しいんですけども、
0:36:35	どうですか。
0:36:36	えっとですね、ちょっとこういう形の前のですね会合でもお示しましたその観測のですね、
0:36:47	観測のあれですね、やり方の漫画と一緒にですね、真ん中にはですね、このですね、このコリレーション処理後の葉系のデータということで、
0:37:01	お示しましてこれをもとに、減衰をさ、計算いたしますということで、そういうやって計算したデータがこの右下の図であると。
0:37:11	いったようなこういうふうなちょっと一連のですね、データとそれからその処理したデータの顔つき、それから、結果としての減衰といったような、プロセ数をちょっと追えるようなものを1枚追加したいなというふうに考えてございます。
0:37:28	これはですねPhaseOneのデータのうちのアルゴンの96のデータなんですけれども残りの3項ですね、全部で4個ございませぬ。これ参考のデータも、
0:37:42	付録として、おつけしようと思っておりますコウ月といたしましては、すみませぬ六ヶ所オガワ
0:37:48	参考のデータの次のページ出せますか。
0:37:52	はい。こういう形で、このですね、は形とそれから減衰の測定結果、こういうふうなデータをおつけするというイメージを、我々目標です。
0:38:06	ノモトのパワーポイントに戻っていただきまして、
0:38:12	17 ページ目のところがこれが競争イワマ布施町に係る共済状況で、こちらはちょっと結果をお示しするところまではまだ至っていないんですけど、
0:38:21	このですね、現在黄色の10個について、終了しているということで、順次ですね、あと赤点線の4校含めた全14校を
0:38:33	目標に取ろうとしていると、いうことを、これ記載してございます。

0:38:38	最後 18 ページなんですけれども、今回ちょっとこの書き方をですね、前回と少し変えておまして、議会の説明内容次回以降の説明内容と、
0:38:49	いうくりでもうちょっと記載させていただいておまして、次回ですね 12 月に、ここで議会は 12 月になりますけれども、12 月には追加調査の実施状況、そこまで取れているものについて説明しますと、
0:39:03	ということで、岩盤部分の点数調査については、岩石コアを用いた即減衰測定と、伊佐検層のフェーズフェーズⅢのデータ取得状況、
0:39:14	それから表層議案の物性値等で上本石堂
0:39:17	物性値のデータ取得状況と、
0:39:20	ここで岩石コア試験以外のデータは、この中に、
0:39:24	設計 2 で、
0:39:26	いうことを
0:39:27	書いてございます
0:39:28	で、これを踏まえますと、このですね、
0:39:31	12 月の説明時点で、られているですね追加調査データを用いまして、このですね岩盤減衰それから表層の分析の
0:39:43	分析評価を、その時点でちょっとえられているデータをもとに、どこまでいえるのかといったような分析も少し我々も示しまして、
0:39:52	しまして、最後です。
0:39:54	データが、
0:39:55	このような検討をやって、こういうふうにならなくてこういう減衰の物性なり、決めて参りたいといったような考え方のところをお示ししたいというふうにご考えてございます。
0:40:07	また 3 番目ですね追加調査結果が獲られた後にはなりますけれども、そのあとの 2 番モデルの設定方針につきましても、方針をこういうふうにごやって参りますと。
0:40:18	ということをご説明したいと思っておりますので、ここら辺がちょっとですね
0:40:23	データ出るまではちょっと何もしませんではなくて、踏み込んでちょっとこの後の道筋を、少し考えをご説明さしあげたいというところでございます。
0:40:34	次の理事会以降の説明内容のところでございますけれども、④で、先ほど申しました方針で基本地盤モデル、呉を実際に策定した結果をご説明して、それでまた、
0:40:46	基本地盤モデルによって、算定される入力地震動を、ご説明したいという我々の見通しを書いてございます。それから、その断面におきましては、この算定した入力地震動を用いた設計の反映手順についても、

0:41:00	我々の考え方をお示しするのかなと思いますのでそこまでのミキ杉尾を少し変えて、
0:41:08	いう形で御説明
0:41:11	ご説明は以上でございます。
0:41:18	その他
0:41:21	皆さんあれば、
0:41:23	後、後でいいですか。はい、じゃあ、
0:41:27	規制庁が確認あります。
0:41:37	政調会です。特に耐震班は規制庁のキシノです。すいません。
0:41:44	ちょっと1点架空てんじゃないんだなって確認です。資料の11ページg。
0:41:59	に対してですね、上の文章に関して、
0:42:03	アマヤ金の文章で、
0:42:06	カッコ芸の赤点線の云々っていう説明があるんですが、
0:42:11	左下に17、(エ)。
0:42:15	の赤点線で、
0:42:17	ダムニイツの方ではなくて右側の柱状図的なケース検層結果図のほうの赤訂正をさしてると思うんですけど、そういう理解です。
0:42:26	はい。日本原燃有馬でございます。星。
0:42:29	おっしゃる通りです。六ヶ所側から補足あればお願いします。
0:42:32	はい。日本原燃の大賀先生のおっしゃる通りでして赤点線二つあるのでわかりにくいのではちょっときちんとし、識別できるようにしますアノPS検層っていうかその速度の、
0:42:43	階段の絵の方の、はい。野瀬のことを指しておりました。以上です。
0:42:47	説明します。はい、わかりました。ここは誤解というか、AMAGIらしくないように直していただければと思います。あと、16ページですね今回始めてくる中衛藤。
0:42:59	追加調査の結果、数が出ているんですけども、
0:43:07	文化
0:43:09	前回ですね前回の審査会合で、生データの1例っていうのが示されて、
0:43:17	今回は、
0:43:18	そこからもう一足飛びにどんどん結論的な、
0:43:24	減衰定数はこうですシンボ吳周期特性のこうですっていうところまで整理をされちゃってるような感じではあるんですけども、
0:43:35	そこに至るまでのプロセスっていうのは、またちょっと追加説明。
0:43:40	あるということで、1回しました。

0:43:43	そういう状況の中で、ちょっとどこまでその分析なり原燃なりの考察っていうのが進んでいるかっていうところを確認したいんですが、
0:43:54	例えばその 16 ページ右側の図で上下に比べるとですね、
0:43:58	まず上の中央地盤の
0:44:02	データというのは、3 地点の結果がプロットされていて、
0:44:08	青線とか緑点線のリニアバイリニアと、もう割と近いような感じに、
0:44:15	見えるんですけども、
0:44:17	一方で下の図のヒガシろう地盤だと。
0:44:20	まだこれ 1 時点のデータしかプロットされてないですけども、
0:44:24	そのデータとリニアバイリニアとは結構差があるように見えるんですが、
0:44:31	こういった事業では割と似通ってるけど東側では、
0:44:37	メリット差があるよねみたいなのところについても、その要因になったり、
0:44:43	何に基づくかといった分析、考察とかっていうのも、今進めていて、ある程度見通しが立っているような状況なんか、それ多分まだまだ一次データの処理中なので、ここら辺ってのはまだまだ今後話ですということなのか、その状況とちょっと教えていただけます。
0:45:00	はい。日本原燃の表でございます。今おっしゃっていただいたうちのですね、イマダのデータを、まだ率いデータを取得している状況と、
0:45:12	いうところの方が、我々の末武光です。ですので今回のですねお示しはですね、このフェーズまで取れたものを、とにかく、何も解釈なしに、
0:45:24	ご提示して、こういうふうな形でまとめていますというご紹介ということではございます。ですんでこれを基にですね、先ほどおっしゃっていただいたようなこの観測記録を用いたこの
0:45:37	検討結果との比較においてどうこうという分析をですね、今回ご説明するということはまず考えてはございませんで、その上で、今ちょっと何か考えていることや、今お伝えしたいことがもしあるのであれば、すいませんちょっと六ヶ所側から補足あればお願いします。
0:45:57	はい。日本原燃のオガセでございます。先ほど岸野さんがおっしゃっていただいた今の観測記録に基づくものとちょっと離れているとか、そういったところ傾斜がちゃんとよく、傾斜についてはよく合っているとかがそういうふうなところのデータは、今ある、こちらにお示ししているデータ。
0:46:13	今回は速報的にこの、特にまだ考察とかは入れてない状態ですけれどもそういった見るポイントみたいなのは先ほど岸野さんがおっしゃっていただいたところと同じようなケアじゃないですね視点みたいなのは思っておりますので、
0:46:28	そこについて、いわゆる地下構造ですとか、あとは地震観測の時にこういうちょっと何ですかね、同定をやったからですとかそういうようなちよっ

	と要因分析みたいなことは、ご説明が当然必要だと思っておりますので、それについてはingで今検討しているところでございますのでいずれご説明する。
0:46:44	ことになるとは認識しております。以上です。
0:46:48	清家榎です。はい。状況はわかりました。だとするとですね、今、この2つというのは、ちょっとそこまでを匂わせるような図になっているんだけど、
0:46:59	それだけを出すのではなくておそらくそこに至るまでの処理のプロセスですとか、データをどういうふうに見てどういうふう処理していったかっていうところの説明も今後加えると理解していますので、それを超えた上で、
0:47:14	この図2つというのは、まだ1例として示すんですよと、こっから、現時点では、減衰定数はこうなりそうだとか、
0:47:25	これまでの結果も踏まえてこういうことを言えそうだなところまでは、言わないと、あくまで今の処理の一覧を示すものだっていう位置付けをですね、
0:47:37	この会合の説明の時にはちょっと明確にしておいた方がいいのかなっていう思うんですけども。
0:47:43	説明最後はそういったことに留意して説明をしていただくということで、
0:47:48	よろしいでしょうか。
0:47:50	日本原燃野元でございます。はい。今岸野さんのおっしゃった認識と全く我々も同じ認識でございますし、説明においては、そこについてちょっとお話をさせていただきたいと思っております。以上です。
0:48:02	はい、規制庁イシタわかりました。ちょっとその点が気になってましたのでその確認でした。私からは以上です。
0:48:09	はい。いいですか規制庁ハバサキですじゃあ、私の方から何点ていうか
0:48:15	技術的なですね中身の話については対応資料というよりも先ほどの今後の説明の話で11月20日ですか、大震災後が提出されて29日、
0:48:28	ヒアリングということで、多分、そちらの方で合併やり、
0:48:33	できればと思っております。ただ、最後資料ということで、これ、ここで出ますので、それについてちょっと内容確認したいと思っております。
0:48:42	14ページの、
0:48:45	一番上の矢羽根の②のところ、衛藤西側地盤については中央地盤と比較して、岩盤部分と表層地盤の境界面に速度にコントラスト融資と書いてありますんで、
0:48:59	左下の図の中にですね左の図の孤島だというふうに理解しててそれですね、その岩盤と表層の境界のところ、

0:49:09	小アノへすでに引いてあるんですけども、これ、Vsでいうと、0.4 キロメートル％ですね、その下の岩盤って、これ今、次見えないんですけど、0.55 ですね確か。
0:49:21	VS数としてはそんなに、それコントラストを有してるのは確かなんですけども、ここで特別言うほどのコントラストなのかなというのは一つ思うんですけどVpの方はそここのコントラストって言ってる。
0:49:36	と思うんですけども、そのあたり、事業者としてどういう県下でコンプレッション書かれてるんでしょうか。
0:49:44	全然根本さん。
0:49:46	じゃ、いいです。六ヶ所から補足お願いします。
0:49:50	はい。日本原燃のオガセすいませんちょっと日本語が。うん。ちょっと微妙で申し訳ありません。言いたかったことはですねコントラストの大きさ自体が、中央と比べて大きい小さいというところは正直着目点というか西側のスペシャルな事項ではありません。
0:50:05	ここで言いたかったのは、すいません速度にコントラストがある、岩盤と表層の面が傾斜しているというところそこが西側のスペシャルなところだと思いますので、何かこうコントラストを、大きなものを有しみたいに見えるちょっと日本語がよくなかったというところでした。なんで、
0:50:20	経営者に包括したところを言いたかったのがこの②の一行目になりますのでそれがわかるような記載に、
0:50:26	変えたいと思います。以上です。
0:50:28	はい。規制庁浜崎です。同じことを 10 ページの西側地盤の特徴のところにも、同じ文章ありますんで、文章を直すなどしていただくと、
0:50:40	今の大橋さんが発言って結構重要かと思ってて、要は西側地盤で干渉を使えなかった理由として、コントラストの話と、傾斜している話、岩盤が傾斜してる話が、
0:50:54	並列的に書かれてるんですけども、今の緒方さんの話ですと、場所法が今回適用できなかった原因というのは傾斜してるのが原因ですっていうふうに聞こえたんですがそういう理解でいいんですか。
0:51:08	日本原燃のオガセでございます。今アノハバサキさんおっしゃった、滯菜アトラスのこと書いてるとおっしゃった②の中の 1 行目と 2 行目の話だと認識してお話をします。それで行った時に一行目については、岩盤と表層の境界がこう傾いているという話で、2 行目については、
0:51:25	表層の中出です。ですのでこの 14 ページの左下の図の 230 と 430 メーター/secのソウノ境界大体 1 メーターぐらいの深さなんですけど、ここに二つ目の境界というんですかねがあるというところが、ヒガシとまた違う傾向をもたらしている、いわゆる

0:51:42	二つの面がこうなんですかね両方影響してちょっと、いわゆるは継承ソ ウノは系がおかしくなっているという意味でしたので、ここで言ってる境 界というのはそれぞれ別のものを行っているところになっております。以 上です。
0:51:53	はい。規制庁山崎です。はい。趣旨は理解しました表層の中に、コント ラストを有することを、表層と岩盤の境界が傾斜してるということで、
0:52:03	理解しましたのでちょっと文章の方ですね、安全、適切な文章かというこ とでお願いしたいと思います。
0:52:11	はい、原燃のオガセですかしこまりました。①アノ②をもう二つ、②と③ に分けるとかきちんとその辺がわかりやすいようにするなり、ずっと何か 紐づけの言葉を足すなりちょっと明確になるようにいたします。以上で す。
0:52:24	はい。規制庁山崎ですお願いします。それともう1点なんですけど16ペ ージ、先ほど
0:52:30	今回のPS検層からの減衰の評価方法ということで
0:52:35	プロセスを追加し、説明しますっていうことで理解したんですけども、
0:52:40	さっきの示されたリレーション処理後の何ですか、これ見てもですねこれ 上から水平2成分と上下、水平二成分と上下ってこう、
0:52:54	深沢コウニイツが書かれてて、要は、
0:52:58	水平2方向やってるわけで、今、16ページで最終的に評価している減 衰っていうのはこれは水平と上下っていう形なんで、この水平2方向か ら、水平動についてどうやって評価してるのか。
0:53:12	というのと、あとこれ基本的に16ページの結果っていうのは、GL-125 メートルからGL-20メートルまでの、
0:53:23	地盤減衰って考えればいいんですか。
0:53:30	疇津ホテでございます。六ヶ所からその3、5お答えできますか。
0:53:37	規制庁浜崎です。もうちょっと端的に言いますと、PS検層からの減衰評 価のときに、水平って言った時に、NSとEWじゃないですけど水平2方 向取られてるわけなんで、それを
0:53:51	地震観測のような何か別途防水じゃないですけどそんな形の処理をし たものなのか、どうやってこの水平2方向から水平の減衰を評価してる んですかっていうのが一つ。
0:54:04	それと、減衰として評価している16ページの図は、
0:54:09	どの層というカドノ深さの減衰の話をしてるんですかっていうところを、
0:54:15	端的に説明いただければと思います。
0:54:19	はい。当然設計の宇野でございます。
0:54:21	最初の方の尊いで、

0:54:25	具体ですけどもこれ水平 2 方向図っておりまして、その水平の 2 方向の合力が一番大きな方向をですね、出してその波に対してコリレーションをかけているということでございます。
0:54:41	ここを出てる減衰につきましてはですね、次の先ほどのこれ今、一番上から一番下までですねこの間のですね、
0:54:53	減衰、アマノ減衰といいますか、実際にこの式がございまして、アノイズ実際には深さ方向としては 1 周期分の波でですねこの
0:55:05	キューを出すんですけども、ここにある、この 100 呉 25-20100 メータ一分ですね 4 分の 18 分の 1 周期分ぐらいのところまでの、
0:55:16	新婦の差をですね換算してやって、その件数を出すというふうな形をとっております。
0:55:24	はい。既設ハタケです。わかりました。今出てる図についてもですね、さっき言いましたようにこれ、上二つは水平で、三つ目が、
0:55:36	鉛直でその組み合わせがこうしたに続いていくっていうのがこのずっとわかんなくなっちゃってるのかなというのと、あと、さっきのベップ合成するような形ん様子で水平は、
0:55:47	評価してるっていうふうには理解したんですけども、そういった説明も細かいっていう細かいんですけども、ちょっと記載の方をしてもらえますか。
0:55:58	当然設計のものでございます。この図でございますが、この図はですね水平鉛直じゃなくてですね先ほど言いました 1 メーターごとに、実際に吊るしが机上に 15 メーター間隔で、3 方向をとってるんですけども、
0:56:12	その水平方向の 2 方向で、撮った先ほどの合成した最大の方向。
0:56:19	の 1 メーターごとですから全部、今これ 2 メーターごとにですね、書いてございますが、その 2 メーターごとはですね全部水平の値のですね、コリレーションの葉系でございます。
0:56:31	このハケを処理いたしまして、この右下に書いてございますような、9 から 1 に変換するというふうなことで図を書かせていただいております。この辺のことをですねもう少し、
0:56:43	わかりやすく書かせていただきたいというふうに思います。以上です。
0:56:48	はい。説明いただきましたので、ちょっともう少し情報をですね、説明してもらえればと思います。よろしく申し上げます。以上です。
0:56:59	はい承知いたしました。
0:57:04	規制庁管です。体裁的なところなんですけど、10 ページとかもそうなんですけど、
0:57:14	文字の色に何か、どこまで意味が、
0:57:18	持たせているのかよくわからんので、
0:57:24	こういうものは赤字で書きます。

0:57:26	ていうのがあんまり整理されてないよ。
0:57:30	ページもそうだし、
0:57:33	14 ページもですね。
0:57:35	このニシウチをヒガシで色分けというのはわかるんですけど、下側の図で、そのオレンジとアパートって何を示したいのかっていう、
0:57:46	よくわからず、
0:57:48	その辺りは
0:57:50	せっかく色分け
0:57:55	精査
0:58:01	承知いたしました。ちょっと思いとしては、この部位数の記載のところは、表層と岩盤で色分けをしていると。
0:58:12	その他の説明文は、西 9 オオヒガシで色分けしていると。
0:58:17	いったようなちょっと使い分けなんですけども、パッと見てんなんのことやらということだとちょっとあれなので、工夫をしてみたいと思います。以上でございます。規制庁、五味です。
0:58:27	例えば、14 ページが表層と岩盤の境界だとするのであれば西側の 400 円以上はですね、オレンジにしなきゃいけないということですね。何かその辺が何だろう。
0:58:40	話をした。
0:58:41	はい。よろしくお願ひ。承知いたしました。ありがとうございます。
0:58:47	はい。規制庁加賀です。あと、20 ページ以降のデータは、
0:58:53	今回新しいのっていうのは、西側のシミュレーションが 46 ページ。
0:59:00	この辺だけですか。
0:59:04	そうですね、規制庁アノ再掲のところは、
0:59:09	何かいいのか要らないのかっていう気もするんですけど、一応、一通りあった方がいいような気もするので、再掲のところは最低で、追加のところで、最後、
0:59:21	資料の掲載量として、
0:59:24	はい。日本原燃のオガセ、今回新しく出したのは 35 ページあたりの西側の伝達関数とさっき上出さんおっしゃってたシミュレーションの結果になります。その上で今おっしゃっていただいたように、
0:59:37	当然前の方のページでも再掲って書いてるところあったのでちゃんとこちらの参考のほうも再掲のところは再掲とわかるようにしたいと思います。以上です。
0:59:45	規制庁、伊勢です。
0:59:47	私から
0:59:49	規制庁。

0:59:51	はい。すいません、規制庁ハバサキなんですが、18 ページですね、今後の対応ということで次回、或いは自治会の会合での説明内容ということで、
1:00:02	さっき野本さんからよく聞き取れなかったんですけども、例えばそれからデータを獲られた後の地盤モデルの設定方針についてということで、
1:00:13	いや、ただで結果がこうなりましたっていうだけではなくて、うんってちょっと聞こえたわけですけども、要は、18 ページの資料自体、
1:00:24	は、これ変え変わるんですか。例えば設定方針について何かこう考え方をもう少し示すとかっていうことで何か考えてるんでしょうかちょっとそのあたり確認したいんですけど。
1:00:36	現在ノモトでございます。18 ページの資料は、これはこのまま次回の会合でお示しするつもり資料でございます。
1:00:47	で、ここで次回のって書いてございますのは、その次か明日 20 日時点の次回ですので 12 月の会合でこういうことを説明させていただきたいという意図で書いてございまして、
1:00:58	ここで書いてございますのは 12 月時点では追加調査データがかなりの部分でそろってきておりますので、それを基にした我々そのあとの検討の方針といったところも、
1:01:10	説明させていただきたいという意図でここは入っているものでございます。以上でございます。
1:01:18	はい、規制庁浜崎です。そうすと磁界の③について説明、設定方針について説明っていうことについては何か。
1:01:30	麻生加古の 12 月になるということですね。
1:01:35	はい。全然なっております。その通りでございます。12 月に説明しますということをここは書いてあるということでございます。
1:01:41	あ、あ規制庁ハバサキです。わかりましたそうすると 11 月の時点では、特に今回、西側の事実関係を説明するという、
1:01:51	ところで、終わるということなんですね。わかりました。
1:01:56	はい。規制庁山崎です理解しましたが、
1:02:01	以前ヒアリングでもですねデータが徐々にこう出てるのっていう中で、今後のその考え方についてをし、設定を、についてについては
1:02:14	08 の中でとかですね、しっかりとヒアリングを踏まえて確認していこうということになったと思うんですけども、ある程度考え方についての
1:02:28	何か方針的なものが示されるのかなと思ってたんですけど 1 月時点では、ちょっと企業者としてはそれは考えてないということで理解はしました。はい。
1:02:40	以上です。

1:02:42	はい、規制庁勝他、規制庁側からいいですかね。
1:02:48	では、管理官お待たせしました 1、1 ハタ。
1:03:02	規制庁の長谷川ですけれども、細かい話は皆さんが言った藤梨衣で、
1:03:09	特にもうさっきの、
1:03:12	減衰のところは、
1:03:14	それだけではちょっとデータ不足でよくわかんないよなっていうのもあったんですけど、まず、
1:03:21	今回今説明も原燃から説明もあったように、取得したデータを兄弟なしで、
1:03:33	イマダしていますっていうそういう状態なんですっていうことなんだけれども、今回、一番下、原燃として大事なものは、やってること。
1:03:45	今原燃がやってることが、当初の方針として、科学的技術的な中で、
1:03:55	正しいあり方を
1:03:59	とってるんですけどところをちゃんと説明、この説明の過程の中で、常にやっぱり一番意識しないとイケない。だから、ことバーの説明とか、
1:04:12	そういうところをやっぱりちゃんと丁寧に確認しないとイケなくて、さっき一部、
1:04:23	見方について重要なところで、
1:04:26	何て言うのかな、ミスリード。
1:04:30	みたいになってしまうと、やっぱりその、
1:04:34	これから先の見方の信頼度みたいなのが、
1:04:39	落ちてくるんで、
1:04:42	そのデータそのものというよりやっぱりそういう部分っていうのをやっぱり丁寧に、
1:04:49	確認してもらわないとイケないんじゃないかと。
1:04:54	だから、わかってたんに、
1:04:58	書き方がよくありませんでしたでは通用しない。
1:05:03	だよな。
1:05:03	ここが原燃がこれまでもすごい甘いところ。
1:05:10	出した資料は、
1:05:12	我々みたいにここちょっとおかしいんじゃないと言って聞けないんだよね。
1:05:17	それがそのまま伝わってしまうというのが、多分今回の中では最もやっぱりそこは留意しないとイケないので、そういう意味で、しっかりこの確認、
1:05:28	なり、

1:05:30	をしてくださいねというのが大きな流れの 1 点目にありますそれをみんな多分言ってるんだと思う。
1:05:38	わかりやすさみたいなものも、
1:05:41	いうところも重要ですよという
1:05:45	のかなど。だから、結果ではないんだよね。
1:05:48	そのプロセスが正しいプロセスを踏んでるかっていうところなんだよね。その結果当たり前のように、結果が導き、
1:05:57	出せるわけだから、
1:06:00	そこはあんまり、
1:06:03	ていう結果のね、結果の図みたいなのは、
1:06:07	それほど実は重要ではなくてプロセスの方がむしろ今の段階で重要でこの先がその結果をどう使うか、どう見るかっていうのが重要になってくるんですよっていう。
1:06:20	ことでそこをしっかりと
1:06:23	ちゃんと確認の中で、一番留意するところ。
1:06:28	思います。
1:06:30	で、2 点目なんですけど、
1:06:32	まとめの部分も含めて、
1:06:36	今はね、データを出してもらってる段階なんだけど、
1:06:42	議論はいつできるんだろう。
1:06:44	当初の話だ等、12 月ぐらいにはデータ出揃って、1 月に具体的な議論
1:06:53	をすると。
1:06:54	いうことだったんだけど、今日のなんか 18 ページだけそのまとめのあれを見ると、何かそんなイメージからちょっと遅れてるんですか。
1:07:06	ちょっとそこがよく見えなかったんだけど。
1:07:12	県ノモトでございます。そういう人でもですね、この議会って言ったらこれ 12 月ですけども、12 月の段階で、そっちの先の
1:07:23	少なくとも本地盤モデルの設定に向けた設計方針のところは、議論を開始するというのが 12 月の断面と、
1:07:33	もう、1 月のためにはその結果について、議論させていただくということ、ここでははっきり述べさせていただくということかなという。
1:07:43	作りにさせていただきます。以上でございます。日本エヌケックでちょっと補足させていただきますと、当初、ボーリングをとって 12 月中にデータをとって、1 月それをすべて並べてと。
1:07:55	というような話してますけども少しボーリングが前倒しに進んでる点もございますし、やはり我々としてもできるだけきっちりデータをとって、

1:08:05	議論の時間をとらなきゃいけないという考えから12月から一部議論をスタートさせて1月には全部見せるにしても、12月できる断面は、少し、
1:08:17	前倒し前広にやりたいというイトウで18ページを作ってますちょっと読み取れなかったら少し、先ほどの①で言われた、説明方法とか、がちょっと足りないので、改善したいと思います。
1:08:29	以上です。
1:08:30	規制庁の長谷川ですけれども。
1:08:33	多分、原燃としては、
1:08:35	最終的に1月の段階で、いわゆる設計オオノ入力地震動、
1:08:43	最終的なところは設計用の入力地震動、
1:08:47	ていうのを、
1:08:49	が策定されるってということだと思えますよね。
1:08:52	です。それから次の、
1:08:56	ステップってことなんでそれが1月に提示されるのか、地盤モデルが、
1:09:04	を議論する。
1:09:06	モデルが提示されるのかっていうのがちょっと曖昧なんだけれども、
1:09:14	日本原燃の大戸でございます。ここ我々の思いとして書いたつもりなのが18ページのところで、④のところ、基本地盤モデルを算定した結果を説明。もちろんこれはやって、
1:09:25	またこれによって算定される入力地震動説明、ちょっとここまで、ご説明するという意図で、ここは書いたつもりでございました設計応力と、ちょっと設計予定です。
1:09:36	わかりやすい規制庁のハセガワですけどわかりやすい言葉です。
1:09:40	て言ったんだけど、そうすると、
1:09:43	ちょっとワテンポずれてんじゃないかなっていう、
1:09:46	気がして。いて。
1:09:49	ワテンポ遅いんじゃないんですかっていう。
1:09:52	要するに、12月2、
1:09:55	何かデータの吟味の方針みたいなものを出されて、嘘素行で我々とちゃんとコミットっていかね、一定の理解が我々が示せる保証はあまりないのと、
1:10:10	さらにモデルが、最終的なモデルっていうのも、多分、通す、いわゆる設計用の地盤モデルってものが、
1:10:20	最終的にされると。ただ、ただしここは多分す、工学的な判断が最終的に入った上での、
1:10:29	地盤モデルみたいになってきてですそこが、また、

1:10:34	我々がコミットというかね、
1:10:39	こんな感じかっていうそこは、
1:10:44	できる、この政策が皆さんからえられる。
1:10:48	ていうところだと思うんだよね。
1:10:50	そうすると、
1:10:52	うん。なんかそこがちょっと狂っちゃうと。
1:10:56	2月とか3月みたいな世界に入るとすると、
1:11:01	もっとマエダ主にある程度、全部じゃないにしろ、
1:11:07	考えていかないと、
1:11:10	十分な議論が、
1:11:12	できるかっていうことかなとは思うんですよ。
1:11:18	だから、データ取得はオンスケジュールかもしれないけど、
1:11:23	そのあとのっていうのが、要するにこっからが、
1:11:27	技術的な議論が、
1:11:29	始められる。
1:11:31	ということだよ。その一部をどんどんどん出してるっていうのが今の花Cなんで、
1:11:39	どんなふうになんか今考えてるのかなあと。
1:11:42	いうふうになんか思うわけですよ。
1:11:45	そうすると、
1:11:47	感覚的には、
1:11:49	すごい細かくて精緻なものというより定量化とかじゃなくても、定性的にも、基本的な考えみたいな。
1:11:59	ものというのを、
1:12:01	今回提示しても、
1:12:04	提示した方が、
1:12:06	いいんじゃないかと、基本的な部分っていうのを、は、
1:12:10	もうある程度議論できるしそこがだから当たり前の世界であればいいわけなんだよね。
1:12:17	これがまたね。
1:12:19	科学的技術的な中で、
1:12:22	こういうデータをとったら、当然、未来設計用の入力地震と作る時に、
1:12:29	こういうデータの見方、当然しますよとか、そういう部分の、
1:12:34	話っていうのは、今の段階でも当たり前なことなんで、
1:12:39	できるんじゃないかっていうか、いえるんじゃないかと。で、多分それそういうのが前提となつて、持ってるデータを、
1:12:50	そこに当てはめていく。

1:12:52	基本的な考えにね。
1:12:56	ということだとすると、基本的なラインっていうのは、
1:13:01	今回示した方が、
1:13:04	むしろ、
1:13:07	合理的な進め方としては、皆さん持ってるはずなんだよね。これ実はです ねやる前からあるんだよね、こんな話はね。
1:13:16	それは別に来月じゃなくてもっと前から示しちゃっていいし一部はもう出 てるわけ。
1:13:22	なんで、
1:13:23	どうなんですか。
1:13:25	理由。
1:13:26	ふうに、
1:13:28	思うわけで、はい。
1:13:31	さらに今ノダがどのぐらいの話なのっていうと、
1:13:35	II情報。
1:13:38	地盤モデルを適切なのというより、この地盤モデル、
1:13:44	のために、
1:13:46	いろいろデータをとってるんだけど、
1:13:49	結局最終的にいろいろ見ていかないといけないのは、
1:13:53	とったデータとれたデータのが、
1:13:57	うん。
1:13:58	要するに、
1:13:59	意味だよ、意味っていうのかな。
1:14:02	とか。
1:14:05	どういう素性のものなんですみたいなのがあるじゃないですか。例えば 室内試験でやったものっていうのは、
1:14:15	こういう、
1:14:16	あるんで、室内試験、
1:14:18	だけだから、
1:14:20	こういう見方。
1:14:22	があるんです。で観測したっていうのが、結局 3 点でしかないんだけ ど、
1:14:28	そういうものをどう、どう見ていくかとか。今回新規使って、起震車使っ て、Dsケースをしてるけれども、こういうものって、
1:14:40	例えばね、一番わかりやすいのは、入力レベルというか、ひずみレベル っていう言い方をした方がいいのか。

1:14:50	結局、周り小さいじゃないですか、観測地震はっていうのも数十ガルぐらいだったっけ。
1:14:57	のレベル、ふうにあるっていうかそういう。
1:15:01	中で、
1:15:03	データを見、見ていくわけですね。
1:15:07	だから、データの持つ意味とか、あとず。
1:15:11	どういうところまでが適用なのかって一部周波数体みたいな適用範囲みたいに出てるけど、その適用性の話だとか、そういう中で最終的に、
1:15:24	多分ね、ここ、実は二つ、裾の先にあって、
1:15:32	とれたデータだけを使うと。
1:15:35	データの意味とか、トータルを見ていくと、こんな感じで、
1:15:43	というのが、
1:15:44	一番みあってるんじゃないかっていうのかな。
1:15:47	例えばシュミレートするときにね、
1:15:50	現状の中でシュミレートしたときに、
1:15:53	のモデルっていうのが一定程度できる。
1:15:57	だと思っただよね。
1:15:58	多少の判断っていうのが入ってくんだけど、
1:16:02	さらに今度は、
1:16:05	基準地震動というもっと大きな、
1:16:08	入力、加速度なりっていう世界に入ったときと、それから設計という、
1:16:19	部分があるよね。それを使ってそれだから、何て言うのかな、シミュレーションすることが重要ではなくて、それ使って、最終的に設計するわけなんで、
1:16:29	その設計用のフナノで最初に言ったのが設計を入力地震動っていう言葉を使ったんだけど、その設計的に見たときに、
1:16:40	という世界が入ってきてここ多分最終的にはいわゆる工学的理由の世界では、
1:16:46	そういう、
1:16:48	ことぐらいは、
1:16:51	いえるんじゃないかと。そうするとある程度 12 月の段階、
1:16:56	では、
1:16:57	その工学的な判断の手前の、
1:17:00	とれたデータからすると、
1:17:03	多分その、いわゆるだからシミュレーションレベルっていう言い方がいいのか、持ってるデータを、
1:17:12	踏まえ、

1:17:13	どう、こういうモデルっていうのがイメージできますっていうのが、
1:17:18	12月の
1:17:21	ぐらいの段階にあるんですかね。
1:17:26	多少データが少しね、まだ出揃ってないのがあるのかもしれないけれども、ここの下にちょっとよく見えてないんですよ。
1:17:35	最後のツーステップの部分ね。
1:17:40	あそこはね、多分重要なのはその部分を切り分けておかないといけないと。
1:17:46	どこまでが、
1:17:49	データなり科学的、
1:17:52	技術的に出たもの。
1:17:56	なのかというものと、最後は多分
1:18:00	ある種の設計用としての、
1:18:02	様々な工学的なことが入ってくるわけだよね。いわゆる工学的判断というざっくりは言っちゃうとね。
1:18:10	ていうものは切り分けないといけないよね。
1:18:14	データの不確かさみたいなものっていうのは実はさ、工学的判断の中に、もう、
1:18:21	あるんだけど、その手前の方の意味の方が実はいいんだよね。
1:18:25	ていうところも含めて、
1:18:27	この辺の辺りは、の考えなり、あと皆さんが12月1月にやろうとしてることを、
1:18:36	やったときに、
1:18:39	どうなんていう、
1:18:45	はい。
1:18:46	日本原燃衛藤でございますちょっと今、ご示唆いただいた内容をちょっと、どこまでできるかちょっと議論を、内部でも申し、指導したいと思えますし、
1:18:55	という意味ではちょっと12月我々効果、書いてる次回、18ページの次回というのがちょっと薄いのか、は軽いと言うのか、もう少し突っ込めてないなっていうのがありますので、そうなんですよ。
1:19:09	今後の対応がもうね、皆さんからするとあと2回ぐらいで全部終わらせたいという考えからすると、
1:19:19	全然塗るといとか、
1:19:24	大田てる。あと5ヶ月やるんだったらさ、ていうふうに思うけど、詰まってないんだよね。

1:19:32	やはり、少し我々、今回申請のモデルから1から出直すというところでデータを出て、出揃ったところで議論しなきゃいけないというちょっと固定観念がちょっとありすぎてですね。
1:19:45	もともと決まっているとか技術的に決まってることまでちょっと先送りしてやるような点がありますので、できるところはやはりやりたいなという気持ちはありますので、
1:19:55	カネカからおっしゃっていただいた内容踏まえて、我々の能力としてどこまでできるかと言ったのをちょっと持ち帰って、受
1:20:04	11月はまだ、もうヒアリングがこんな状態ですので、そんなに今月の審査会合にふやすのは大分難しいとこありますけれども、12月の会合はこのまま今書いている、18ページでいいのかといったところをもう一度、
1:20:18	持ち帰って議論させていただきたいと思います。当たり前の話ぐらい。はい。
1:20:24	別の議論で、これ実はやってるんだよ。はい。
1:20:29	やってるっていうのは、じゃあ具体的に明示的にあったかっていうと、ちょっとわからないかもしれないけど、
1:20:36	今やってることが、
1:20:38	やってるいろんなデータを吟味するっていう
1:20:43	ことが、科学的な技術的ってそれで一般的なねはな、やり方として、正当性があるんですよっていうのをずっと説明してたじゃないですか。
1:20:53	そうすると、何でそれが正当性かって言ったらそのあとのデータの処理とか、見方とか、そんなのも、
1:21:01	実は込みになってるわけですよ最初の段階ですすでにね、あそこどこが明確にはこう言われて作業かってねちょっと
1:21:10	ちょっと概念的に話したような話みたいなのが実はあるわけですよ。
1:21:17	当たり前のように、だから当たり前、多分皆さんはもう何か走っちゃうとそっちに目しかいかなくて、常に初心に戻って、そこちゃんと照らしてね。
1:21:29	こういかないといけないんですよっていう。
1:21:33	何か、最初の1番目もそうなんだけど、
1:21:37	常に科学的技術的に、そして、誰もがね、専門家が専門家というかね、わかっている人が、大半が同じ位置道を、
1:21:49	たどってて、自分たちもちゃんとね、ほらねちゃんと同じ道たどってるでしょっていうのが大事なんですよ。はい。
1:22:01	で変わっているのはここ最後の工学的判断かもしれない。
1:22:07	ここはね、ここは一般的にばらつきが、ばらつきっていうのは、専門家が見て、ばらつきがあっても、はしょうがないかもしれない。

1:22:17	それはあと最後、原子力の世界だとか何だかとか、いろんな中で、
1:22:22	ていうので、
1:22:24	このナカマルバツはね、実はつけがたいんだけどもっていう
1:22:30	ただしその手前の段階は、誰がやっても、そんなに大きく結果が変わってはいけないだろうと。
1:22:39	そこをだからちゃんと示して欲しいんだよね。まず、
1:22:43	それが多分それ 12 月。
1:22:47	持ち帰ってそこでできると思います。
1:22:50	でももともと書いたんだからさ。
1:22:54	ね。
1:22:57	どうだった。
1:22:58	どの感覚だった。
1:23:01	野本さんの的には、僕が言ったもの、要するに誰がやっても、結果がこんなもんだよねっていうのを、
1:23:08	そこがまずい。
1:23:09	一発目のまとめなんだよね。そうですねはい。はい。
1:23:12	それが 12 月、それが 1 月だった。
1:23:17	衛藤。
1:23:19	ただひいミキをたどった結果、データが、このえーとですね、まず、
1:23:29	それはデータが取れないと、取れたものをに基づかないといけないので、最終的な確定はやはり 1 月なんだけれども、12 月時点で、そこそこの
1:23:40	大体目安がつくという画面だというふうには思う。
1:23:45	今おっしゃっていただいた、それとは別の工学的判断の世界、これは並行して議論させていただかないといけないといえますか我々の子の考えを肯定しないとけないと。
1:23:58	いう認識ではあって、だけどそれが少し、
1:24:03	原画を持っているスケジュール感って、
1:24:07	ルールだよなってさっきおっしゃいましたけども、それは、
1:24:11	確かにその通りで、そこそやはり議論といえますか、考え方をやはり、規制庁さんをご提示して規制庁さんからの、
1:24:21	フィードバックを受けてるのか、かなり大事なところなので、それをちゃんと踏めるようなスケジュールリングでやらなきゃいけないねというところに少し載ってないような形に、
1:24:33	難点等おっしゃっていただいたんだと思いますし、私も今そう思いました。以上でございます。

1:24:41	別に1年間これお金かかる別に構わないんだけど、もうちょっとやっぱり、
1:24:48	自分たちのスケジュール感があるとしたら、もう少しちゃんと詰めていかないと。
1:24:53	こういう部分もやっぱりちゃんと、
1:24:57	しっかりできてるのかっていう、素行の中で今回、やっぱりオールジャパン体制で、データはちゃんと吟味しますみたいな世界が入ってくるわけだから、
1:25:10	そうすると最終的にこれがオールジャパンの結果かみたいな、何かね、チープなものを出せないわけですよ。
1:25:20	なのでそういう意味でね、最後の
1:25:24	近うついてきたわけだからもうちょっとしっかりさ、フィニッシュを詰めていかないと。
1:25:30	今までさ、やったものが全部台無しになっちゃうよ。
1:25:35	と思います。
1:25:37	なので、よくあれしてください。はい。ちょっと18ページはクシダと言ってるわけでは決してない。
1:25:44	18ページの記載ぶり、やることの今後の道筋をもう少し検討して、ご提案させていただきたいと思います。ありがとうございます。
1:25:57	はい。
1:26:00	はい。
1:26:03	信号が出ない。
1:26:10	けれども、
1:26:13	今の話。
1:26:16	持ち帰るとは言いつつも、
1:26:18	結果発表は来週1週間後っていうわけにいかないと思うので、どうしますか。来週、
1:26:28	背弧の話アウトラインだけどそんな大した資料でいるわけではございませんので、18ページの今後の補日本ケットクですけども、18ページの今後のやることの、ベースアップは10、
1:26:43	18年14。
1:26:46	14×8です。
1:26:48	という話ですね。ちょっと、この辺でお話できるようにちょっと、
1:26:53	たいと思っております。
1:26:55	はい。続いております。
1:27:00	続けて、構造設計、
1:27:03	はい。

1:27:12	再掲の部分が、首藤 そのまま再検討の数に載っているのでそこは記載の仕方を考えたいと思います。具体的には 59 ページですね、これ前回、
1:27:25	スタートのところで書いたものをそのまま違ってます。60 から 60。
1:27:30	3 までにはいつもの説明箇所を明示しているので、特段最終という形ではないんですけども、59 ページも考えたいと思います。
1:27:40	64 ページで今回の審査会合でのポイントとしては前回でのやりとりを踏まえて記載の拡充とかをしてきたという、いうことでございます。ポイントは、64 ページの①番から④番です。
1:27:53	それぞれの①から④に対して、P6570 に書いてますがそれぞれのページに具体的に、やったことというのを、も含めて記載をさせていただいているということでございます。
1:28:06	それぞれ 65 ページ以降からありますが、昨日のヒアリングでのやりとりもありますので、図とかの修正は当然必要になりますので適宜、
1:28:17	行きたいと思います。あと例示なんかも含めて、追加をしないといけなかなという部分もありますので、そこも並行して、
1:28:28	検討していきたいと思います。はい。
1:28:32	特に、あとは前回の審査会合でこういう共通順位の具体化を図るとき、作成するときに、
1:28:43	新井さんからですね審査会合的にはどういう進め方をするのがいいのかみたいな、私もガイドの話をしながら、話をしたんですけど、共通な本文とかガイドで解説をしているようなことも今入れ込みながら、考え方を変えて、具体的な
1:28:58	結果を載せていくっていう書き方も含めてちょっと考えなきゃなと思ってます。なぜかというとなら 65 ページ書いてある文章が非常にチープで、なぜこれがその下のやつが出てきたかようわからなくなるので、
1:29:10	その辺で、考え方、ガイドで書いてたことなんかの、解説も含めて書いてあげて、その結果がこういう設計項目の追加。
1:29:20	洗い出したいなことに繋がったとかですね、そういうつながりをしないと、
1:29:25	まだ足りないなと思ってたところでした。
1:29:28	はい。あとは、
1:29:33	70 ページからが
1:29:35	②番、清さん。
1:29:38	関係とかSGTの話ですね、の関係の話です。
1:29:43	これも、

1:29:47	製作工程の要求の整理ということが、真鍋そもそも出てきたかっていうところと、
1:29:54	今前提となるといきなり書いてるので、その考え方をもうちょっと書かないといけないと思ってます。7172 は昨日のヒアリングでいくつかご指摘いただけてますので修正を加えますというところですかね。はい。
1:30:11	74 ページが、SGPの話、これも真ん中にあります資料 2 の関係なんかは昨日やりとりをして、拡充をしないといけないので、
1:30:22	これもちょっと類焼と絵を同時に 74 ページに落ち込んでしまってこれだと読み、読めないの、
1:30:31	文章での考え方の解説と、下側の図の、
1:30:36	図ってか表のところですね、これをちょっとページを開けてやろうかなというふうには思ってます。少なくとも字が読めるようにはしていきたいと。
1:30:46	はい。
1:30:49	は、
1:30:51	設計、基本設計方針、
1:30:55	ナカからの評価の抽出の件。
1:30:58	75 ページのところですかね、機能要求②。
1:31:03	の項目をピックアップしているということで、昨日の話で機能要求②であったり、
1:31:10	仕様表での記載、の根拠になるものであったりと、要求事項としてこの評価を抜いてくるときの考え方。
1:31:19	口頭で補足をさせていただいたものがまだここだと反映しきれてませんのでそれも、
1:31:24	リーダーのところの拡充はしていきたいと思います。
1:31:29	はい。あと 76 ページこれも耐震の部分だけになってますけど他にも、
1:31:35	記載の充実化設計方針の裏返しみたいになってて何をやりたいのかが具体化できてないところは、
1:31:43	もともとの、前回の審査会合にお出したバージョンからいくと、耐震だけでなく、廃棄施設とか機械装置搬送装置でも具体化しているパートがありますので、
1:31:55	そういったところを例示を、いくつかピックアップして拡充していければなというふうに思ってます。
1:32:01	あとは単純に 76 ページの記載のページは、昨日議論があつて修正が必要ですので、その修正は、
1:32:09	反映していきたいと思ってます。
1:32:13	はい。

1:32:16	資料としてははい。こういう構成でさ、例示も含めて、示していければというふうに思っているのが現状の考えでございました。
1:32:26	このイメージを念頭に市のヒアリングの場で審査会合で説明する案件ですみたいの。
1:32:34	はい。
1:32:36	説明は以上です。
1:32:41	では規制庁。
1:32:44	規制庁の荒井ですけども。
1:32:47	ビード分っていうところがどこに該当するのかっていう、どこまでが該当するのかっていうのを、
1:32:54	まず教えていただきたくて、入りからすると、何か 64 ページのやつが、
1:33:01	起点になるのかなあとか思いつつ、その前のページっていうのはここで説明しないといけない人ってあるんですけど。
1:33:08	58、59 から。
1:33:12	はい。59 のエリアでございます。59 は特にここになくてもいいので後に回そうかな。
1:33:18	思ってます。
1:33:19	60 からは今まで審査会合で今日説明する、関係する条文みたいなものを、
1:33:26	最初に掲示をさせていただいてたんで、そのナゴな流れで今回もつけさせていただいているということです。はい。
1:33:36	そういう意味だと 59 ページは、後ろに飛ばすし、
1:33:41	それで、
1:33:42	59 ページに細かいなユリとグローボックスのシステム設計が抜けてるっていうところと、
1:33:48	あと別添っていうのは共通中に本来ってことなんですよ。はい。今回も、はい。
1:33:57	59 ページのタオルからどっかに入れる。
1:33:59	はい。ちょっとこの後のページで説明したような修正を加えると、最終形、前回説明したものが、こんな形に変わりますと、後から説明できる。
1:34:11	はい。
1:34:18	あとは 64 ページ目で、
1:34:21	前回の会合で、こういうことが指摘されましたっていうところで、すみません。
1:34:27	補足です。はい。60 ページ入る前に、その前のページの位置付けとかの関係なんですけど、

1:34:37	前回なりで話をしてるからいいかっていう、いうことなのかもしれないんですけど。
1:34:45	今回何で
1:34:48	十条 16 条 17 条 23 条。
1:34:52	がついてんだと、それが説明なんだっていう。
1:34:56	ことが何もなしに、
1:34:59	これがつくのはどうかと思うん
1:35:02	それで、前回、59 ページのものをつけたんじゃないかなと思うんですけど。
1:35:09	その点で改めて見る等、
1:35:12	この表の中に 556 条はあるじゃないかと。
1:35:18	いう。
1:35:19	ことだった李 20 条もですかね。
1:35:23	なんですけど、これどうなってんでしたっけ。
1:35:26	はい。読みニシウラでございます前回審査会合の前にも、そういった議論をさせていただいてですね市場部になってるものも、あとは今回、
1:35:37	後ろに行っちゃったんですが、進捗の説明の中で、今回、1 ポツが、
1:35:46	説明対象になるものを前回から変わりませんよというパーツじゃなくて ※1 になってですね、それを対象にこのシートを付けるという考え方でということでご説明をして前回もこの条文にさせていただいてました。
1:36:02	はい、フゾクです。事実関係はわかってるんですけど、それが表示でわからないっていうのがなぜでしたっけっていう質問です。
1:36:16	はい。
1:36:21	を考えます。はい。
1:36:24	そうですね。
1:36:26	前回不足です。単純に製造部と関連条文で分ければ、
1:36:31	いいんだろうなと思うんですけど、出頭者が、どうぞ、進捗状況を霞しますと、
1:36:39	いうこと。
1:36:41	の構成だろうと思ってました。
1:36:46	はい、乳井です。
1:36:48	はい。考えます。
1:36:52	はい。よろしく申し上げます。荒井さんどうぞ。
1:36:55	はい。
1:36:58	そうですねそういう意味だと、前回の会合も同じようなスタイルで行ってて、資料文で抜き出している考え方と違って、
1:37:05	あんまり働いてないよねっていうのがあったので、そこら辺のことも、

1:37:10	また、説明内容とか整理なのかなと思っています。それで、64 ページ目で、前回の会合との、
1:37:19	対応関係が記載されていて、
1:37:23	主な審議結果として公表した我々の指摘事項としては、2 ポツ目に書かれている内容で、グローボックス。
1:37:34	ちゃんと今まであらかた整理されてきたやり方を踏襲して、
1:37:42	他のところにも展開してしっかり整理しましょうという話があり、それで①から④、
1:37:49	を整理する結果になったっていう説明って、
1:37:56	どう読み取ればいいのかっていうのが、わからなくてですね。
1:38:03	はい、西田でございますはい。読み取れないっていうか書いてないんです。はい。ちょっと書き方ちょっと拡充をします
1:38:14	まずグローボックス整理したことを踏まえて他の設備にもしっかり整理していくことということについては、
1:38:22	①番、であったり、④番の話が、対応するのかなと思っています。それ以外に、今回、
1:38:36	構造設計の説明を整理している中で、
1:38:40	②番。
1:38:42	みたいな話、これも言ってみればあれか、グローボックス生産小の話をとってという話で同じように展開した話なので②番もそうですね。
1:38:51	というような視点があつたりと、また評価っていうことも同じように、ピックアップしていかないといけないということで、それぞれどういう危険でグローボックスでのいろんな展開の中で、
1:39:05	どういう考え方でこの四つをピックアップしたのかっていうのを、この
1:39:10	64 ページの中で書いて、次につなげていくと。
1:39:15	ので、整理をさせていただきますはい。
1:39:19	はい。そういう観点でお願いしたくて、それで今後の説明というところで、
1:39:25	①から④はとりあえず前回か。
1:39:28	会合との関係では、ここまで整理しましたというところで、それでも、足りない、足りないっていうかこういう部分が必要だよなっていうところで、
1:39:39	今後の説明というところで書いていて、
1:39:43	それで
1:39:44	うん。
1:39:45	再処理、
1:39:47	グループに移行っていうのはMOXなので同じような扱いでやっていくと思うんですけどそれを最初にどう反映していくかっていうところの説明が、

1:39:55	重要なのかなとっていてですね、2 ポツ目の話だと思っすけど、
1:40:04	はい。
1:40:09	はい、西浦でございます。そうですね。はい。
1:40:16	今回何らか書かないと、そうですね、繋ぎにならない。
1:40:20	そうですねどちかっていうと再処理の方が複雑で、分量も多いので、それに反映できるようなやり方っていうのを、
1:40:29	ある程度の視点があるのかなとっていて、
1:40:34	そこは今後っていう書いてあるので、
1:40:37	この場では具体的に説明できないのかなと思ったんですけど、説明できる点があれば、書いといた方がいいのかなとは思っています。
1:40:45	はい。いう印象でございます。ちょっと
1:40:49	そうですね。
1:40:50	前回、
1:40:54	一昨日のヒアリングでのガイドへの反映状況どうなるかという議論をさせていただいて、今までも複数をやってきた実績を反映してガイドに盛り込みながら、
1:41:08	また再処理で作ってる人たちと話ししながら、
1:41:12	こういう部分をケアしていかないと、最初の資料作り込めないでっていうところも、ピックアップしてガイドし、修正していくという話もさせていただいているので、どういう視点が、
1:41:23	再処理を見たときに、MOXの反映という意味では必要な
1:41:26	ポイントなのかと。
1:41:28	いうことをどう認識してるかは少なくとも書いて次につなげられるように、
1:41:32	いうことで考えたので整理させていただきます。
1:41:37	規制庁の荒井です。はい。そういったところが多分重要だと思っているので今後の説明の、具体的に説明入る前の橋渡しのところとしては、説明できるようにお願いしたいと思っています。
1:41:51	あと評価の話は、
1:41:54	どこ多分今回できないんでしょうけど、
1:41:57	そこも、
1:41:59	はい。今後の会合というところで最後書いてあるというふうに認識しています。
1:42:07	とりあえず私からは以上です。
1:42:16	もっと成長オカです。先ほどアライと、あとコサクとも話してたような、リード文の内容なんですけど、まず、
1:42:30	毎回の会合で、今月度オギアノその1ヶ月間どんなことをやってきたかというページ、

1:42:38	59 ページの前につけてその中で、少しこの 59 ページからの唐突感をなくしたり今のガイドの話とか、ちょっとそういうことを書くって認識でよろしいですか。
1:42:51	はい。日本原燃石原でございます。はい。そうですね。それをするとおっしゃっていただいているというのは①番から④番に行くつなぎにもなると思うので。はい。
1:43:04	前回介護移行には取り組んできたこと、かつそれが指摘を踏まえるとどういう点に展開するということになったのかと。
1:43:14	いうことの流れを考えて、意識して、
1:43:18	上の頭の方変えていくと、いうことで認識をしてます。
1:43:22	はい、サイトウがですじゃそれで、とりあえずは、あと、64 ページ目の、今回の対応の中で、
1:43:32	昨日もちょっと触れたんですけど、
1:43:35	今後説明する者に対する、
1:43:39	橋渡しのもの、す。
1:43:41	取り合いを明確にして、そういうところの工夫をするっていうようなものは、どこかに入ってるんです。それとも新しく出すんですか。
1:43:51	はい。ユニシアでございますそう。
1:44:02	見える。
1:44:04	ちょっと考えます。だから徳田してもいいような気もしないでもないので、はい。
1:44:10	規制庁甲斐です。そこは徳田して、
1:44:15	岩相と貯蔵の図を使いながら、こういう工夫してますというような説明があった方が、
1:44:21	流れとしてもわかりいいかなと思いましたので、
1:44:24	お願いします。
1:44:30	78 ページ目とか、なんか、77 もそうなのかもしれないですけど、前回からちょっと変わってるところがあって例えば 16 条の搬送、
1:44:42	なんかが、
1:44:43	ごそっとなくなったりあと解析評価の方も、
1:44:47	なんかほとんど記載がなくなったりしたんですが、この辺で何かあった。
1:44:54	日本原燃市田でございます。
1:44:56	言った覚えがないので、はい。ちょっと確認します。はい。すみません。
1:45:00	はい。規制庁フナツあんまり変わるようなところじゃないと思ってますので、よろしくお願いします。はい。
1:45:08	はい。ちょっと気づいたところは確か大丈夫です。

1:45:13	コサクです。ちょっと重複するかもしれないんですけど、石原さんが説明されたところで
1:45:23	説明がプアなの補足を追加していくというようなことを言われたと思うんですけど。
1:45:31	資料の並びとかも含め、
1:45:36	ウッド整理をしてもらうといいかなと思ってですね。
1:45:40	65 ページについては、結局この、
1:45:47	色づけをして、3、三つ水道つけておられるので次のページとかに、
1:45:55	内容があるので、
1:45:59	そこで説明しますというふうに、字数飛ばせばいいだけかなと。
1:46:05	思っ
1:46:07	ています。で、
1:46:09	ただ、嘘なので
1:46:12	左上の図があって、それに何らか飛ばす。
1:46:18	ことを書く際に、この部分でのポイントみたいなこととかを少し変えていただく。
1:46:25	いいのかなと。その上で、次のページ次のページ次のページ、
1:46:30	いうふうにしていただくとわかりやすいのではないかと思う。
1:46:34	いて、そうだとするとその次の 66 ページは、それでここに入ってるのかっていうのをご説明いただけますか。
1:46:47	はい、弓削西原でございます。
1:46:58	はい、与儀西田でございますそうですね。
1:47:03	ちょっと全体像、ちょっと私がもともとやりたかったところをおっしゃっていただいて、65 ページで全体像を示して、ここの話を次のページ以降に具体の
1:47:14	大きく表示して、ポイントを示すと。
1:47:18	いうことをやりたかったのが、姿なんですけど、そうなると 66 ページはもともと 65 ページに入っていない数が出てきたんで、ちょっと、
1:47:28	もう、
1:47:29	少しすいません思った絵姿になるように考えますはい。
1:47:33	これだと繋がりがないので、はい。すいませんでした。
1:47:36	はい。補足です。で、ここ、
1:47:40	65 ページというかコウ 01 で説明したいことっていうのは設計項目の展開っていうのを拡充って、拡充っていうのは、項目漏れをしたやつを入れ込みますということと、

1:47:54	各項目での内容っていう、2点あるのか或いは前者だけなのかっていうと、どっちですか。はい。中身的にはすいません今の具体例をつけちゃうと、両方入っちゃうんですけど①で説明したいのは電車だけです。
1:48:11	はい。補足です。そうするとこの例示三つっていうのは、全部追加になったことですね。
1:48:21	20、25 ページで言うと、そうですねすいません。もともと構造設計だけがあったものにシステム設計と配置設計を足した感じになります。はい。
1:48:32	そこがわかるように、多分説明をしないとイケないかなと思います。はい。
1:48:38	はい、そうです。わかりました。ではその旨をしっかりと 65 ページに書いて、
1:48:47	その時に構造設計元からあったんだけど、そのページではちゃんと関連があるようなところは明記しました。
1:48:55	ということですかね。はい、どうぞ。
1:48:57	はい。
1:48:59	はい、加来です。了解しました。
1:49:02	66 ページについては、そのの、
1:49:07	イントロになるようにしっかりと資料 2 なりなんなり、
1:49:12	これ、資料 3①と書いてありますけど資料 2 の段階から、抽出をしました。はい。ていう、本来は①のオオモトで説明すべきこと。
1:49:23	はい。でいいということですよはい。
1:49:26	はい。そうすると、65 ページにそれがわかるような、何かイントロを書いて 66 ページにつなげるということですか。はい。
1:49:37	はい。細木。
1:49:38	そういう形で目配りあります。
1:49:42	そう考えると、次の
1:49:47	ところも同じ感じでいいですかと。
1:49:51	ということなんですけど、独自のブロック内 60、
1:49:57	70 からですか、70 から 0 になって
1:50:02	うん。
1:50:08	これはちょっと受槽違いはするんですけど、結局②がイントロそれを踏まえて例示で、7172 ではあるんですよ。はい、そうです。はい。
1:50:19	はい。
1:50:20	ちょっと繋がりをもうちょっとちゃんとわかるように、はい。整理します。はい。
1:50:24	はい。よろしく願い。
1:50:27	うん。

1:50:31	それで、
1:50:52	そうですね 70 ページの場合、やっぱりな。
1:50:56	を使って何が言いたいのかっていうこと。
1:50:59	やろうと。
1:51:00	土日向け。
1:51:02	はい。よろしくお願いします。先ほどの例示になっているところのページ ワー
1:51:10	縮小した形では 9 ページそのままコピーした形にしてそれに吹き出しを して捕捉してるっていう形だと理解をして、わかりやすくいいかなと思 いますので、
1:51:24	はい。そういった全体フォーマットを整理して対応いただければと思いま す。以上です。
1:51:34	はい。人間ニシダでございます。はい。
1:51:37	全体。
1:51:39	の考え方だったり、全体の枠組み全体像がですね、見えるようにしてか つ、そこから個別の話で、さらに具体的なポイントがわかるように、
1:51:50	ということで、資料を同じような展開なり、整理をしていきますはい。
1:51:57	はい。補足です。ごめんなさい。それでいうと 74 ページっていうのは、
1:52:03	あれですかね、70 ページにエッセンスを入れつつ、
1:52:07	ページとしてですね。はい。ものがあるって感じですか。はい。
1:52:11	ちょっとその辺の関係も今、唐突に 74 が 70 とあんま関係ないようにで きちゃってるんで、70 で、どういった鑑定を拡充しないといけないのかと 安全設計の前提としてっていうポイントで、
1:52:23	生産関係の話であったり、SGPのやつだったりっていうのを挙げた上 で、それぞれどういう考え方で拡充をしていくかて具体の方に飛ばして いって、具体的な話をそれぞれ進めていくとかですね。
1:52:37	そういったページの関係も含めて、70 で振りをできればと思います。
1:52:44	はい。補足です。わかりました。あれですねその前までは生産系の話で
1:52:50	SGPの話ということで、一応例示としてはそういう並べて書いてってこと ですね。はい。
1:52:59	はい、蘇武です。わかりました。
1:53:03	以上です。
1:53:06	あと、規制庁のアライですけど、あの会合の中で、これは体系的に水平 展開を含めていろんな整理をしていきますっていうのが①から④で、大 方のやりとり⑤が増えるかもしれないけど、
1:53:18	やっていただいた中で、会合の中で多くから細かいところを指摘しました よね、換気設備の評価入れ込みましたとか、あとは、

1:53:28	ラック。
1:53:29	とかの、
1:53:30	空気の流れてこういう構造なんだよねっていうところは、別添の中で説明するっていうイメージなんですかね。
1:53:38	はい。油井ニシナでございますちょっと例示も含めて足さないとっていったのが私が
1:53:44	岡さんから、評価の話は、75 ページが基本要件事項の中で、
1:53:53	4 評価要求がついてなくても、機能性の要求するものの基本設計をしてそのために、
1:53:58	評価が必要だっていうものをピックアップするみたいな話なので、これの例示で、岡さんが言われた評価必要だよなってところもうDで出していけば、
1:54:09	まずはクリアできるかなとは思ってました。はい。
1:54:13	そういう意味では、どうもし、換気設備が明細データの方のページを、にするか、もしくはもう1個足すかです。はい。考えております。
1:54:26	ラックの話はどうしますか、トラックの話は。
1:54:31	この話はどっかに出しますかね。
1:54:35	構造の具体化の④番の例示の一つで足すか例示として確かに、
1:54:47	そういう意味だと前回会合との整合はアパレルのかな。
1:54:54	はい。
1:54:59	規制庁ですけど、
1:55:01	その④番、その介護受けて、今回また、
1:55:06	④番として具体化充実化しました。
1:55:11	どういう範囲で作業したのかっていうのがよくわかって、
1:55:15	今見てるだけだと、会合で言われたところはやりましたんですけどそういう
1:55:21	はずはなくて、こういう視点で、
1:55:25	全体っていうんすかね全体。
1:55:27	とは言っても、グローボックス関係すると。
1:55:30	もう
1:55:31	作業しました。で、その結果の例示がこうですっていう。
1:55:37	作業した。
1:55:38	いう説明。
1:55:39	はい。それが、
1:55:42	先ほど岡さんから、前回会合を受けてどういうことをやってきたんですか。中で、一つは、先日来お出ししているガイドですね、ガイドで資料3のところ、

1:55:53	要求事項全体の要求事項をまず認識した上でそれを設備全体、設備の構成部位とかいろいろなものにブレイクして、変えていくんだよと。
1:56:04	慣れ、その費用、要求事項の裏返しにならないように何をもってその要求事項を達成するかっていうのを、こういうステップで具体化していきなさいみたいなものを、
1:56:15	それはグローボックスで考えたことの、
1:56:18	体系を考え方としてガイドに反映したんですけど、それを各担当に説明して、
1:56:26	議会装置搬送装置もそうですし、ラックピットも、それぞれちゃんとブレイクして今資料として、この④番みたいな作業につなげていったというのが実態だと思っております。
1:56:37	なので、そういうことを、この中で書いているかなと思ってます。
1:56:43	はい。
1:56:44	わかりました。
1:56:48	学生町側から何かあるんですか。
1:56:54	社長がですねのための確認なんですけど、今のような拡充をして、大体説明時間で何分ぐらい想定されてますか。
1:57:02	はい。
1:57:03	日本原燃石田でございます。当初 10、
1:57:09	15 分ぐらいいるかなっていう気もしないでもないです。
1:57:13	はい、成長がわかりましたじゃ、15 分ぐらいだと出すのかなと。
1:57:18	思いましたので今の修正を引き続きお願いします。以上です。
1:57:28	規制庁、
1:57:33	なければさ。
1:57:35	変えて、はい。
1:58:01	齋木の方でございます。江藤。ちょっと細かいところ帰っても 11 ページ目の図等、家庭支援につきまして、図でサポート死滅するように、記載を適正化して、
1:58:13	それから 16 ページのえさケイソク帰られるまでのプロセスのところですね、こちら、どういう処理をしたか一等を示しまして、現時点でられている結果の 1 度示す位置付けというのを記載した上で、
1:58:27	ちょっとそこのプロセスが、もう少し書き下してわかるように記載するということでございます。それから水平方向の減衰決める時のその NSE W の派遣の処理方法についても説明を文書として追加するということでございます。
1:58:42	それから 14 ページの②の文章でございますけれども、10 ページの負債もそうなんですけど表層等を岩盤の境界の傾斜と、競争面でそこそこ

1:58:57	部長、
1:58:58	アmanoこのオオニシ側についての検討であるということがわかるように、記載を見直すということをござい。
1:59:05	それから 11 ページ、14 ページの図につきまして、色とかがちょっと崩れておりますんでそこんところちゃんと統一して、わかりやすい。
1:59:16	前回言いますか統一した書き方をしたいと思います。
1:59:19	5 番目、すいません。参考資料につきましてさっきのものを与えていただくことがわかるようにしたいと思います。
1:59:27	で、それから、全体に 1 回全体についてですけども、簡潔科学的技術的に正しいやり方をとっていると、ということが大事だということでこのですね説明においてちょっとそこを、
1:59:40	きちんと踏み外さないような、記載と説明をとということですなのでそれは資料全般として、ちょっと再確認して参りたいと思います。
1:59:51	それから 18 ページ目の、
1:59:53	議会会合の説明内容につきまして、そのデータに基づく検討と工学的な判断を含めて検討する内容のもう両者をきちんと分けた上で、今後の説明予定ですねこちらの方を、
2:00:04	元の方でちょっと再検討いたしますので、これを次回 11 月 14 日のヒアリング時に、ご確認いただけるように準備いたします。以上でございます。
2:00:15	規制庁、齊木に言った話って、管理官。
2:00:20	あれだと思いますけど。
2:00:22	この説明のところだけ、ちょっと直すとそんなイメージ。
2:00:28	藤琢そこは説明、12 月の説明内容がこう考えてますというところをやはり直すというのが、このご趣旨かなというふうに私、
2:00:38	は認識いたしましたけれども、
2:00:42	12 月には、基本地盤モデルと、データの見方っていうんですかね、何かその辺を 12 月に初めていうんじゃないかと、11 月の会社でも、
2:00:53	的な考え方は、
2:00:55	あるべきじゃないかと言われたことに対して持ち帰りますか。それが入っている。
2:01:02	すいません。ちょっと我々現在で、ちょっと持ち帰っていただいて、検討してその結果を報告いたします 2 番の 11 月でのご説明内容。
2:01:12	ということで、対応させていただきます。以上でございます。
2:01:17	スケジュールは、' 介護、
2:01:22	ヒアリングでと言ってますけど、その日にまた介護資料もあると
2:01:30	話が聞ける元に、十分じゃない。

2:01:37	はい。
2:01:38	ちょっと
2:01:41	どこまでの説明は、11月分っていう、
2:01:45	はい。
2:01:48	資料としても、今後の対応。
2:01:52	1個前ぐらいで多分あるのか。
2:02:00	入れなければ、
2:02:02	はい。
2:02:03	はい、乳井瀬谷でございます。それでは次交通の構造設計の説明ということですね。
2:02:09	59ページ、情報が最新化されてないということもありますんで、耐震化することとあと、この59と、
2:02:19	順番もう一度考えますけど、70、78の新曲の
2:02:23	これも、あとは59、60ページ以降の条文ごとに、これを全体合わせて、図書条文、
2:02:32	こうやったりとか、関連条文で今回1ポツから説明しなきゃいけない条文なのかということを確認にして、この60ページ以降のシートがこの条文がついているもの、意味合い意見。
2:02:44	どのようにつなげていけるように、
2:02:46	整理をしていきたい。
2:02:49	で、64ページのところはこれ前回の会合から取り組んできたことが、どこを規定にするかは前回の審査会合による指摘を踏まえて、どういうことに取り組んできたのか。
2:03:03	その中で、グローブボックス、
2:03:06	コウ間の水平展開をするという視点で、どういう点を、
2:03:09	追加拡充しないといけないのかっていうポイントをどう考えて、1から4に結びつけたのかと、いうことの流れがわかるように整理をさせていただく。
2:03:19	いうことと、また④番までの項目で足りないのもちょっと多分追加をして設備区分、設計説明分類間の取り合いがあるようなところ、
2:03:31	説明が境界があるようなところをどういうふうに整理をしたかという点で、搬送と創造みたいなやつバックフィット性ですかね、その関係みみたいなところの取り合いをどう整理したのかと。
2:03:41	いうところも項目としては各
2:03:45	また今回目標説明グループ1前回の審査会合に引き続きやりましたけども今後最初に展開する上での考えですね、どういう、
2:03:56	ポイント5が重要だと思ってるのかどうやって引き継いでいくのかと。

2:04:00	ということの考え方を、
2:04:03	表1点をですね、変えて、次回の会合、今後の会合のところの最初につなげられるような、何もちょっと考えたいと思います。
2:04:13	です。
2:04:14	はい。
2:04:17	65ページ以降については、まず、項目ごとに至ったと何をここで説明したいのかがわかるリード文をちゃんと考えるということと、65ページにあるような、絶対を、
2:04:30	まずちゃんと見せてそれぞれの関係性がわかるようにしていったポイント何を拡充。
2:04:36	追加したのかというところを説明しつつ、個別のところのページにそれぞれ振って、具体の話をする。
2:04:43	有効性で全体見直していくということで、
2:04:48	はい。
2:04:51	それを全体に反映していくという
2:04:55	はい。
2:04:57	以上です。はい。
2:05:01	あとは7718は、すいません。
2:05:04	前回はなぜか抜けてたところがあるのでそこはちゃんと戻る
2:05:08	はい。
2:05:14	今の内容について、
2:05:19	はい、じゃあ、全体を通じて原燃側はわからないとあります。
2:05:26	長谷川です。すいません。スケジュールの話に戻ったら恐縮なんですけども、
2:05:32	再処理の
2:05:34	グループ1名共通中に、
2:05:36	ですね、
2:05:38	作成作業を進めているところです。
2:05:43	11月末の提出を目指してですね、今、作業を進めているところです。
2:05:48	一方でですね、上流側の整理っていうかこのSDの紐づけ整理みたいなところは、ちょっとまだ宿題として残っていると。
2:05:56	いう状況ですので、
2:05:58	ちょっと一旦、
2:06:00	11月末時点でここまでできてます、ここまでできていませんというのをちょっと明らかにした上で、ちょっと一旦だし、
2:06:08	大南。
2:06:09	思ってます。そのあとにですね、私、12月審査会合もありますので、

2:06:16	その前にその上流側の整理、反映した第2版を出していくとかですね、ちょっとそういう形で進めたいと思っておりますので、また次回ですね、このスケジュール中に反映させていただきたいと。
2:06:31	以上になります。
2:06:39	規制庁から、
2:06:45	コサクです。今の、わかりました。
2:06:52	とりあえず、
2:06:53	だんだんしたいと言われたのの音のため確認ですけど、再処理グループ1っていうことですよね。おっしゃる通りです。
2:07:03	はい。補足です。わかりました。グループ1についてはそういう形で進めていただければと思うんですけど。
2:07:13	グループにも心配をしているので、
2:07:17	その状況っていうのは、さすがにグループ1チームを生煮え状態で出すっていう状況なのでそれに合わせて載っけてもしょうがないと思うんですけど、
2:07:29	そのあたりは進め方なのか、或いは、
2:07:34	ミツイでのその進捗ということでの別途の資料なのかー。
2:07:39	お示しいただければと思うんですけど、よろしいですか。はい。二本木ニシダでございます。はい。承知いたしました。はい。
2:07:48	はい。
2:07:49	そうですねよろしくお願いします。あとは、並行して作成が移動の、
2:07:57	方針ということで、これあれですかね15日に1回出されるから、それを踏まえてお話をすれば、
2:08:05	見通しが助けてですかね。はい。
2:08:08	はい。
2:08:09	そう思っております。はい。
2:08:12	はい。あれです、15日に出し、
2:08:15	17にヒアリングで、それを踏まえたものとして、作業は今の
2:08:24	プーリング出したいというものは、
2:08:27	作業されるって思えばいいですかね。
2:08:30	はい。宮城ニシダでございますはい。まさしく講師来週出すときに、いたそうと思ってたのは最初に見てやってもらってちょっと話をしながら、
2:08:40	こういうポイントガイドで入れとかないと書けないよねみたいなことで反映させていただこうと思っておりますんで、それを踏まえたものを、20、月末かに出させていただくということで考えてました。はい。
2:08:53	はい、そうですねわかりましたよろしくお願いします。
2:09:04	ではこれでやります。